

整理番号	経費の項目	調査研究費 <u>研究費</u> 広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	--

(事業内容)

富山新聞政経文化懇話会
平成31年度(令和元年度)会費

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		平成31年度会費	55,000円
	《合計》	55,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0018703	31-04-08	
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
振込枚数		残高枚数	
万円	千円	円	円
006000000000000000	000401030101		
時刻	ご利用手数料 (消費税等を含む)	お取引金額	
14:27	¥486円	¥60,000円	
おつり	お振込引後の残高		
¥0円	円		
手数料のうち振込手数料		¥486	
		000020	
北陸銀行 高岡支店 普通 4564810 トヤマケンキカイキョウ ヨシタツ 様 トヤマケンキカイキョウ ヨシタツ 様 電話番号 076-434-3909			

お領収書... 通帳へ記入されるまで大切に保管してください。
Aが振込の組戻しは「利用控」を添付してください。

B(2015)42 X 29.10 108 X 500 CM

裏面もおわせてご覧ください。

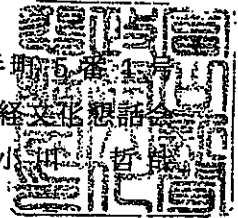
5-1

平成 31 年 4 月 1 日

請 求 書

富山県議会議員 吉田 勉 様

富山市大手町
富山新聞政経文化懇話会
代表者 小中 哲



金 60,000 円

日頃より、富山新聞政経文化懇話会に対し格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、平成 31 年会費を上記の通りご請求申し上げます。つきましては、2019 年 5 月 31 日（金）までに下記口座に納入いただきますようお願い申し上げます。

口座名義 富山新聞政経文化懇話会

取扱金融機関	<input checked="" type="radio"/> 北陸銀行高岡支店	普通預金	4 5 6 4 8 1 0
	北國銀行高岡支店	普通預金	1 1 0 8 1 2
	富山第一銀行高岡支店	普通預金	1 6 0 5 9 9
	高岡信用金庫広小路支店	普通預金	0 7 3 3 5 7 7
	富山県信用組合高岡支店	普通預金	2 0 1 8 9 6 9

※尚、本請求書と行き違いでお支払いの節は、失礼をご容赦下さいますようお願い致します。
(連絡先) 富山新聞政経文化懇話会事務局 電話 076-491-8126

434-3909 + 486

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年5月30日

会派・議員名 公明党 吉田次女

整理番号	経費の項目	調査研究費	研修費	広報広報費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-------	-----	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

北日本政経懇話会
平成31年上期会費

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		平成31年上期会費	18,000円
	《合計》	18,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

（ならないように貼付すること。）

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	振込番号	処理番号	日付
お振込	0044144		31-01-24
銀行番号	預金店番号	科目・口座番号	取扱店番号
			106
お振込金額		振込金額	
万円	五千円	二千円	千円
500円	100円	50円	10円
5円	1円		
0050000000004000401030101			
時刻	ご利用手数料 (別紙宛等を含む)	お取引金額	
13:41	¥486円	¥54,000円	
おつり	お取引後の残高*		
¥0円	円		
手数料のうち振込手数料		¥486	
		000018	
北陸銀行 本店営業部 普通 0093060 キタニホッセイケイゴソウカイ 様			
トヤマケンキカイキョウイン ヨリタ ット ム 様 電話番号 076-434-3909			

お領収書...
ATM振込の総額としてご利用ください。
お振込金額は、お振込台紙の金額と一致するものとさせていただきます。

北陸銀行 25.10 102x500 CR

裏面もあわせてご覧ください。

5-2

請求書

平成 31 年 1 月 15 日

富山県議会
議員 吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長 忠田

〒930-0094

富山市安住町 2 番
北日本新聞社経営企画室内
TEL 076(445)3528
FAX 076(444)9180



下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000 円

摘要	金額
平成 31 年上期会費 (平成 31 年 1 月 - 6 月分) 9,000 円 × 6 カ月	54,000 円
	合計 54,000 円
備考 会費 (1 カ月 9,000 円) は 6 カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、平成 31 年 2 月 28 日 (木) までに下記の
北日本政経懇話会口座へお願い致します。

※領収書の発行は省略させていただきますので、予めご了承ください。

※振込手数料は、貴社・団体でご負担願います。

【振込先】北陸銀行本店 普通預金 口座番号 0093060 「北日本政経懇話会」

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費 <u>事務費</u> 人件費
------	-------	--

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		レシート	1501円
	《合計》	1501円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間 9:30~19:30
★DCMアプリ会員募集中!!
くらしに役立つ動画やWEB予約など
お得な情報をお届けします。
アプリストアでDCM純正インクと検索!

領収証

2019年05月22日(水)10:46 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク	
4960999971308	¥3,002
合計	¥3,002
(内税タテヨリ	¥3,002)
(内税	¥222)
(税合計	¥222)

お預り	¥5,002
お釣り	¥2,000
お買上点数	1点



レシートNo8584

店No00803

5-3

富山県済会
公明党

領収証

¥3,002-

2019年05月22日(水)

上記正に領収しました(消費税等
但し、商品代
DCMカーマ 呉羽店 222円を含みます)
DCMカーマ 呉羽店 448-0046愛知県刈谷市日高町4-101
TEL 076-(434)-4000
※保管上のお取り扱いの際は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-2599-8584

領収証明細

2019年05月22日(水)10:46 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク	
4960999971308	¥3,002
合計	¥3,002
(内税タテヨリ	¥3,002)
(内税	¥222)
(税合計	¥222)
お買上点数	1点



レシートNo8584

店No00803

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年5月30日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・英訳翻訳等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費	事務所費・事務費・人件費
------	-------	--	--------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		地本新聞	2,072円
	富山 "	3,072円	"
	赤旗	3,497円	"
	《合計》	9,641円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

2019年 5月分 領収証 発証No. 00004567-201905-1

吉田 勉様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額	¥3,072
------	--------

(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当紙発行において適切に管理し、新聞の配達・販売、郵便物からの各種ご連絡、新聞・雑誌等のご案内等にのみ利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

19年 05月分

19年 5月 27日

No. 580023

お名前 吉田 勉様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当

各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

日本共産党発行の

しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2019 年 5 月分

新聞・雑誌名

部数

金額

日刊「しんぶん赤旗」

1

3,497

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

振替

5-4

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年5月30日

会派・議員名 公明党 吉田 勇 丸

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費	
(事業内容)			
執務参考用図書			
上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	日本教育新聞	13,500円	2019年5月~9月分
		《合計》	13,500円
《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)			

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

No. 053981

領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,200-

但し購読料 31/4月~31/9月として

平成 31年 4月 8日

(郵便振替)

上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 入

株式会社 日本放送新聞社

東京都港区虎ノ門 8
〒105-8426 電話 03-3581-128
東京都港区白金台二丁目2番10号
電話 03-(3639)-7008(代)

扱
者
印



※上記発行先・金額の訂正は無効です。

5-5

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

払込金受入票 (振込依頼書)

振替払込請求書兼受領証 (振込金 (兼手数料) 受領書)

日誌番号	001508	196500
加入者名	日本教育新聞社	
金額	16200	
振込先	銀行 支店	
おとご・おなまえ	456973	
ご依頼人	富山県議会 公明党 吉田 勉	
料金	日	附
備考	印	

日誌番号	001508	196500
加入者名	日本教育新聞社	
金額	16200	
振込先	銀行 支店	
おなまえ	456973	
ご依頼人	富山県議会 公明党 吉田 勉	
料金	日	附
備考	印	

CVSご利用の場合は取扱店額保管

(ゆうちょ銀行)

請求書

2019年 4月 3日

富山県議会 公明党

吉田 勉

様

株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長

東京都港区白土 1-10-1

電話 03 (3) 433-0008

《お支払い先》

・振替払込 00150-8-196500

・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店

普通預金 2835213

・口座名義 株式会社日本教育新聞社

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。

下記の通りご請求申し上げます。

※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

合計請求額	16,200 円	読者コード		請求書番号	0004202025
-------	----------	-------	--	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品名	部数	期間	金額	備考
前回請求額				16,200 円	2018/10-2019/03
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2019/04-2019/09
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,200 円	2019/04-2019/09

整理番号	経費の項目	調査研究費・ <u>研修費</u> ・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	--

(事業内容)

北日本政経懇話会
 令和元年 下期会費 (令和元年7月~12月分)

	経費の内容	金額(円)	備考
	上記事業に 要した経費	北日本政経懇話会費	54,000円
振込手数料		486円	
		《合計》	54,486円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただき、ありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お取引の種類	請求番号	処理番号	日付
お振込	0018107	01-07-16	
銀行番号	請求書番号	件目・印帳番号	金額
			106
取引種別	取引種別	取引種別	取引種別
0050000000004	000401030101		
時刻	ご利用金額	お取引金額	
14:50	¥486円	¥54,000円	
おつり	お振込金額		
¥0円			

お預け... ATM振込の通帳... 大切に保管してください。

手数料のうち振込手数料 ¥486
000033
北陸銀行
本店営業部
普通 0093060
キタニホンセイケイコンツカイ 様
トヤマケンキカイキョウイン ヨシタツ
ム 様
電話番号 076-434-3909

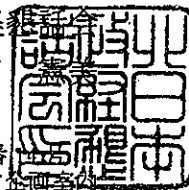
裏面もあわせてご覧ください。

請求書

令和元年 7月 10日

富山県議会
議員 吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長 忠田
〒930-0094
富山市安住町 2番
北日本新聞社経営企画部
TEL 076(445)3528
FAX 076(444)9180



下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000 円

摘要	金額
令和元年 下期会費 (令和元年 7月-12月分) 9,000 円×6 カ月	54,000 円
合計 54,000 円	
備考 会費 (1 カ月 9,000 円) は 6 カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、令和元年 8月 30日 (金) までに下記の

北日本政経懇話会口座へお願い致します。

※領収書の発行は省略させていただきますので、予めご了承ください。

※振込手数料は、貴社・団体でご負担願います。

【振込先】北陸銀行本店 普通預金 口座番号 0093060 「北日本政経懇話会」

整理番号	経費の項目	調査研究費	研修費	広聴広報費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-------	-----	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

県政報告 製作費

令和元年 6月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		県政報告 製作費	200,000円
	企画編集料	60,000円	一式
	封筒製作費	50,000円	5000部作成
	消費税	24,800円	8%
	(合計)	334,800円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

No. _____

富山県議会 公明党 様

令和元年 7月 4日

¥334,800-

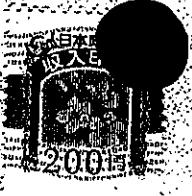
内 訳

現金 ¥

小切手 ¥

振込 ¥

但し県政報告代 205,000- 均等代 56,700-
上記の金額正に領収いたしました



内 訳

税抜金額

消費税額等 (8%) 24,800-

三 十 十 印 刷 社

代表 山田 幸 郎

富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)

TEL (0764) 277-5777



7-2

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

請求書

No. _____

令和元年7月 日

富山県議会公明党様

三ナト印刷社

代表 山田 幸郎

〒931-8334 富山県 富山市 千原南2丁目1-1

TEL & FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 ¥334,800

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	500部		200,000	
2	色紙・刷集料			60,000	
3	封筒等	500部		50,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				310,000	
消費税				24,800	
合計				334,800	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議会議員 県政報告 ◆発行 / 富山県議会公明党 (令和元年6月)
◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444 - 3373

◆北陸新幹線の一日も早い大阪までの全線整備を!

◆北陸新幹線は、ビジネスや観光などにおいて他の整備新幹線と比較しても顕著な開業効果をもたらすなど投資効果が高いほか、南海トラフ地震など大規模災害時には、東海道新幹線の代替補完機能（バイパス機能）の役割を担うなど、国土強靱化を進めるうえでも重要です。
 「2031年春 全線開業を！」新幹線県協議会の決起大会で決議！

◆富山新時代へ！令和初の6月富山県議会・予算特別委員会での「吉田つとむ」の質問！

問1 「日本手話」と「日本語対应手話」の普及について

(1) 明晴学園の目指す「ハイリンカルろう教育」に対する評価と、本県の聴覚総合支援学校におけるろう教育の現状・課題をどのように認識しているのか、問う。
 日本のろう学校では、音声中心の「聴覚口話法」が主流であり、「会話」を学ぶことに多くの時間が割かれるため、十分な学力を身に付けることができない。

【伍嶋教育長 答弁】

明晴学園は、聴覚障害者を対象として、声を使って話す口話の指導をせず、授業をはじめ、学校での会話を全て手話で行う、手話と日本語の読み書きを重視した教育方法である「バイリンガルろう教育」を実施している。この取組は、手話の技術獲得はもとより、手話と読み書きのコミュニケーション能力を集中的に高める観点からは、効果的であると考える。

本県の富山・高岡聴覚総合支援学校では、聴覚障害の状態等に応じて、音声、文字、手話、指文字等を適切に活用することや、補聴器や人工内耳等の活用により、児童の保有する聴覚を最大限に活用し、効果的な学習活動が展開できるようにするという内容が定められた学習指導要領に基づき指導しており、補聴器や人工内耳の装用等、多様な

実態を踏まえて、例えば、コミュニケーションにおいて、伝えること及び受け取ることの両方ができる手話や日本語の読み書きの手法、受け取る手段として口の動きを読む「口話法」や、残っている聴力の活用と併せて口の動きを読む「聴覚口話法」等の中から、最も適切な方法で言葉を獲得できるよう教育を行っている。また、多様な手法を習得することが可能であることから、各教科の学習や人との交流、さらには、多様な方がいらっしゃる社会への参加につながるものと考えている。

聴覚障害のある子どもが手話等を適切に使い、十分な学力を身につけるには、子ども一人ひとりの障害の状態に応じた最も適切な指導法を判断することが重要である。このため、課題となっている指導する教員の専門性を高めることが必要であり、今後とも県聴覚障害者協会と連携しながら、手話等の様々な研修に取り組んでまいりたい。

問1 「日本手話」と「日本語対応手話」の普及について

(2) 富山県手話言語条例に照らし、「日本手話」と「日本語対応手話」の普及など、ろう者の社会参加を促進するため、今後どのように取り組んでいくのか、問う。

手話の学習者が最初に出会う県と市町村の手話講習会は「日本語対応手話」であり、それが本来の「手話」であるかのように認識されているが、ろう者にとって「日本語対応手話」は決して快適なコミュニケーション手段とは言えない。

【石井知事 答弁】

聴覚障害者や聞こえにくい人が使用する手話の形態は、聴覚障害の程度、聴力を失った年齢、生まれ育った環境等により様々であるが、一般的には、「日本手話」は音声を発しないで、表情や眉や口の動きなどを交えた手話とされており、「日本語対応手話」は日本語に手話単語を合わせ、発声を伴った手話とされていると伺っている。

県では、手話言語条例制定を機に、昨年9月の記念フォーラムの開催、県専任の手話通訳者1名を障害福祉課にフルタイムでの配置、県主催の各種会議への手話通訳者の派遣、定例記者会見のホームページでの動画に手話通訳を表示、手話サークル活動への助成など、手話の普及や理解の促進、手話を使用しやすい環境整備を通じ、ろう者の社会参加の促進に努めている。

手話は、独自の体系を有する言語であって、長きにわたり受け継がれてきた言語活動の文化的所産であること、また、筆談や要約筆記等と同様に、重要なコミュニケーション手段であること、さらに、音声言語と同様に、例えば「令和」のような新たな手話が作られる等、時代や社会情勢により変化することなどを踏まえながら、県としては、ろう者の皆様が使用する手話にも様々な形態があることにも十分配慮して、ろう者の社会参加の促進に引き続き取り組んでまいりたい。

問2 建設残土の処理について

(ア) 農業振興地域内の農用地を建設作業により発生した建設残土置場とする際には、どのような手続きが必要なのか、問う。建設作業により発生した建設残土が県内の農業振興地域内の農用地に置かれたままとなった場合、地域住民に大変な迷惑が掛かることになる。

【河村農林水産部長 答弁】

農用地区域にある土地に建設残土を置く場合の手続きとしては、一時的に利用する場合と恒久的に利用する場合とで異なるが、利用する期間が3年以内の一時的なものであれば、他の土地での代替可能性がなく、また、周辺農地への影響がないことなどの要件を満たせば、農用地区域のまま、農地法の「一時転用」許可を取ることができる。この場合、富山市の案件は富山市長、富山市以外の案件は知事が許可をすることとなる。一方、恒久的に利用する場合は、「農地転用」に先立ち、農用地区域からの除外、いわゆる「農振除外」の手続きが必要となり、農振除外にあたっては、当該除外願出地の周辺に、農用地の連たん性を阻害する農地が残るなど、農用地の集団性や農作業の効率性に支障を及ぼすおそれがないことなどの要件を満たすことが必要となる。「農地転用」については、

農地区分ごとに許可できる場合が規定されている「立地基準」と、事業の実現性、面積の妥当性、周辺のうちへの支障の有無など土地の効率的利用を確保する観点から判断する「一般基準」に照らして申請に対する審査が行われ、要件を満たせば許可されることになる。

問2 建設残土の処理について

(イ) 建設残土を有料で引き受けた業者が、その残土を山林などに投棄するケースが全国的に目立っており、土砂災害を防止する観点からも、環境先進県として、建設残土処理に関する条例を制定すべきと考えるかどうか、所見を問う。
山林に投棄された建設残土が大雨などで崩落する事例が発生しており、また、首都圏で発生した建設残土が条例で規制していない自治体に大量投棄されている実態も明らかになっている。

【水口土木部長 答弁】

産業廃棄物や有害物質などを含まないことが前提であるが、工事現場で掘削により発生する建設発生土は、土地造成などの盛土材料として再利用できる有用物であることから、「資源の有効な利用の促進に関する法律」により、工事間で有効活用を図ることとされている。

区に、県、市長が発注する公共工事で発生または必要となる土砂については、その土量、土質、搬出搬入時期の情報を「建設発生土情報交換システム」で共有し、他の工事で活用している。すぐに活用できない場合は、将来に利用するためストックヤードに運搬することとしている。

さらに、昨年度からは、民間工事の情報も共有できるようになっており、今後も積極的に官民で有効活用を図っていきたいと考えている。

一方、他県では、大量に積み上げられた建設残土が、崩壊するなどの危険があるとして、砂防法、河川法、森林法などに基づき、行為の中止・改善・復旧命令の行政処分などをした事例がある。これに加え、盛土の崩壊防止の規制や、これとあわせて土壌汚染や廃棄物の不法投棄の防止を内容とした、いわゆる土砂条例を制定している県もある。

本県においては、建設残土の山中への大規模な投棄などの事例は、これまでのところ聞いていないが、こうした事例が生じないように、今後とも、建設発生土の工事間の有効利用を促進してまいりたい。

あわせて、建設残土処理に関する条例について関係部局と連携して、他県での取組み状況などを調査研究してまいりたい。

問3 子どもの登下校の安全対策について

(ア) 通学時における安全確保のため、登下校に子どもが集まる場所や通学路のパトロール、不審者情報の発信などの防犯対策に県警察としてどのように取り組んでいくのか、問う。
先月に川崎市で発生した児童等の殺傷事件が県内でもいつ起こるか分からず、保護者も不安を感じている。

【山田警察本部長 答弁】

登下校の安全対策については、昨年6月に関係閣僚会議により取りまとめられた「登下校防犯プラン」に基づき、通学路を中心とした登下校時におけるパトロール活動、教育関係機関等と連携した通学路の合同点検、警察署と学校との連絡体制の構築、防犯対策や見守り活動に役立つ情報の積極的な提供などの取組を進めてきた。

川崎市で発生した事件を受け、県警察では、事件発生翌日に各警察署に対して、登下校時の子供の安全確保対策の徹底を指示し、更なる対応を進めているところである。

具体的には、スクールバスの停留所等の登下校時に子供が集まる場所を把握した上での警戒活動を推進するとともに、防犯関係団体に対しては、登下校時間帯におけるパトロール活動の強化をお願いしたところである。

情報提供については、県警察の安全情報ネットを活用して、不審者情報のほか、保護者等による防犯活動や

見守り活動に役立つ情報など、受け手の立場に立った、地域住民の防犯行動に資する情報の適時適切な発信に努めているところである。

県警察としては、子供の安全を確保するため引き続き、学校、教育委員会、防犯ボランティア団体等と連携しつつ、現在県警察で実施中の防犯カメラ貸出事業の普及促進や効果的な情報発信など、社会情勢の変化や地域住民の要望に応じた対策を推進してまいりたいと考えている。

問4 食品ロスの削減について

本県において「食品ロス削減のための商慣習見直し等に関する共同宣言」を行ったことや国において食品ロスの削減の推進に関する法律が成立したことを踏まえ、本県の食品ロス削減に関する理解と関心を深める必要があると考えるが、今後どのように運動を展開していくのか、問う。

【石井知事 答弁】

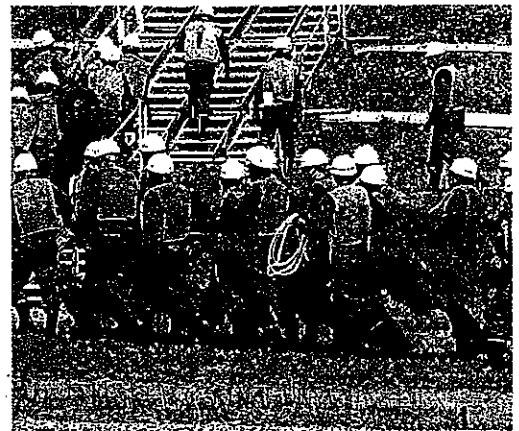
3年前に本県で開催されたG7富山環境大臣会合において「富山物質循環フレームワーク」が宣言に盛り込まれ、その後に庁内に部局横断のプロジェクトチームを立ち上げるとともに、「富山県食品ロス・食品廃棄物削減推進県民会議」を立ち上げて、県民総参加の運動を展開している。食品流通段階における1/3ルールなどの商慣習の見直しに向け、県民会議に設置した「商慣習検討専門部会」で議論いただき、事業者・消費者・行政がそれぞれ役割を果たし、商慣習の見直しに取り組むことを、県レベルでは初として全国に先駆けて宣言した。

この宣言に賛同し、商慣習の見直しに取り組む事業者の募集を行っているが、さらに意欲ある製造業者では、気密性の高い包装資材の開発等による賞味期限の延長や、これまでの「年月日」表示に替えて「年月」表示とするなどの取組みが行われており、卸や小売業では、納品・販売期限の緩和や期限間近食品を売り切る取組みが進められている。来月にはこうした取組みの加速化や拡大を目指し、商慣習の見直し宣言事業者への盾の交付や取組事例等を紹介するフォーラムを開催することとしている。

また、消費者の皆さんを対象に、啓発イベントの開催や、スーパー等の買い物かごを利用した啓発活動、食品ロスモニター調査や手付かず食品の活用の啓発等を行い、食品ロス削減に向けた取組みの拡大を図ることとしている。

さらに、国においては、食品ロスの削減の推進に関する法律が成立し、今後、基本方針の今年度内の閣議決定を目指しており、年を越す可能性が高いと考えられる。本県の方が取組みが進んでおり、今秋を目途に県の食品ロス削減推進計画の概案を作成し、必要があれば国の基本方針に踏まえて修正し、県民総参加の運動をしっかりと展開してまいりたい。

◆「庄川氾濫」で実践訓練！高岡総合水防演習に2300人！5段階の警戒導入！



県内での演習は黒部川以来6年ぶり。昨年の西日本豪雨で住民避難が遅れたことを教訓に、政府が大雨時の防災気象情報を5段階の警戒レベルに区分する避難指針を示してから初めての大規模な訓練となった。
(令和元年5月18日)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請関係等活動費・会議費・資料作成費	資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	------------------------------------	--------------------

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	3072円	6月分
	富山新聞	3072円	6月分
	赤旗	3497円	6月分
		(合計)	9641円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

2019年6月分 領収証 発証No 00004567-201906-1

吉田 勉 様

品名	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,072

合計金額
¥3,072
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、領収書において適切に処理し、紙質の都合上、紙幣等からの転写による誤りや、印刷・複製等による複製を防止するために加工しております。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領収

北日本新聞



領収証 19年06月分 19年6月7日 No. 580023
お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

品名	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売(株)
富山センター 呉羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140



各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

日本共産党発行の **しんぶん赤旗** 領収書

吉田 勉 様

新聞雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

3,497 円

2019 年 6 月分

上記の金額だけいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日 / 投者

7-3

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

備品購入

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		蛍光灯	729円
	蛍光灯	7128円	LDZ24V 14256円 × 1/2 (拵合)
	タックシール		
	《合計》	7857円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

本と文具の
山口書店富山市呉羽町6571
TEL 076-436-5576

2019年 6月12日(水) 10:17 No:0001

0105筆記用具			
単150 × 10個	外	¥1,500	
-2%	10%		
-15 × 10個		-150	

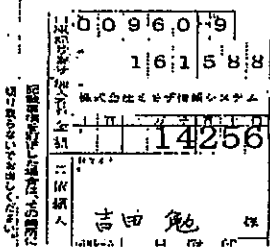
小計	¥1,350
外税対象額	¥1,350
消費税等外税	¥108
合計	¥1,458
(内消費税等	¥108)

お預り ¥1,458

資No:00000003: [REDACTED]

取引No5760 10点買

ご利用明細票

お取扱日	店番	取扱番号
01-06-19	32185	A93170005
取扱店	トヤマケンチョウナイ	
払込口座	00960-9 161588	
払込金額	*14,256	料金 *150
		振替受付票
入金額 *14,406 おつり *0		払込みの証拠となるものですから大切に保存して下さい。 料金には、消費税等が含まれています。 (ゆうちょ銀行)
“あんしん” & “べんり” な スマホ決済アプリ ゆうちょPay		

印紙税申告納
付につき翔町
税務署承認済

お客様コードNo. ()

930-0116

富山県富山市追分茶屋49-3

富山県議会 公明党

吉田 様

TEL 0764343909

FAX 0764822078

納品書 兼 請求書

伝票No. 72-T01906120002

2019年6月12日

株式会社 ミ システム
 【振込先】 ジャパンネット銀行 本店普通預金 (普)1121208
 ゆうちょ銀行 富山支店 (当)0161588
 【連絡先】 TEL: 075-595-2424 FAX: 075-583-2447

担当者: ()

いつもありがとうございます。下記の通りご請求申し上げます。

商品名	数量	単位	単価	金額
LDZ24U	2		7,128	14,256 *

請求書発行日から10日以内に、手数料ご負担にてお振込み下さい。

入金確認業務迅速化のため、可能であれば振込人名にお客様コードを追記願います。

お客様コード + お名前(例:1234567ミモザ太郎) ※コードは本票左上に記載

本状と行き違いで既にお振込済みの場合は、ご容赦願います。

合計 14,256

*は税込金額です。

7-4

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年8月1日

会派・議員名 公明党 百田 豊

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北本新聞	3,380円
	富山 "	3,072円	"
	赤坂	3,497円	"
	《合計》	9,949円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2019年7月分 領収証 発証No. 00004567-201907-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額 **¥3,380**
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当財源所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各号ご送付、郵送・出版物等のご案内などに利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

領収印

北日本新聞

領収証 19年07月分 19年7月29日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 **3,072**

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)
富山センター 呉羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当



各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

日本共産党発行の **しんぶん赤旗** 領収書

吉田 勉 様

新聞雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

合計金額 **3,497 円**

2019年7月分

上記の金額たしがいたしました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日 / 扱者

8-1

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・ <u>広報広報費</u> ・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	--

(事業内容)

県政報告書(令和元年6月定例会)郵送料

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		郵便運賃料	137350円
	折込料	76750円	
	《合計》	209100円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

DE 690423

領 収 証

富山県議会 公明党

様

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

領収金額 **¥137,350**
(うち、消費税額等 ¥10,250)

但し、7月度宅急便他運賃料金として / 年 7 月 26 日
上記の通り領収致しました。



振 込 印

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2-3-8

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

領者印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

領 収 前

富山県議会公明党様 2019年7月26日

★ 4 71750

但 メール掛入作業
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

富山県射水市小島1214
北山ニ三代

請 求 書

2019年 7月 26日 No. _____

富山県議会公明党 様

富山県舟橋市小島

下記のとおり御請求申し上げます

北山二三A

税込合計金額				税率 %	消費税額等	
月日	品 名	数量	単価	金 額 (税抜・税込)		摘要
7	1 メール封入作業	2050	35	71750		
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
合 計				71750		

整理番号	経費の項目	調査研究費	研修費	広報広報費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-------	-----	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

※ 地方から 孝子 社会保障フォーラム 8/7(水)~8/8(木)

ビジュンセック-東京有楽町
 麹町 中央区銀座 1-6-2 銀座Aビル3F

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		東京新幹線	25,860円
	受講料	27,000円	
	振込手数料	540円	
	宿泊費	7,950円	8/7 一泊
	《合計》	61,350円	

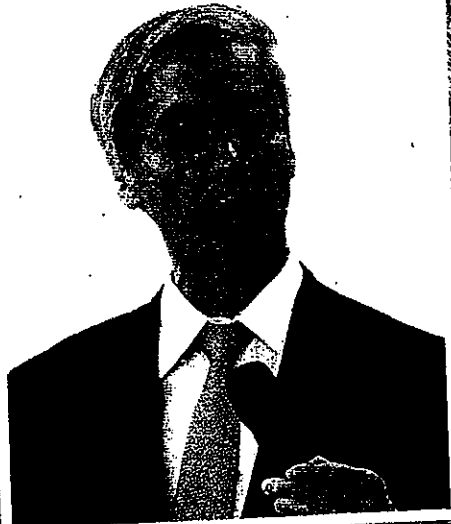
《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号		会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	地方の考察 社会保障フォーラム		
日程	令和元年8月7日(水)～令和元年8月8日(木)		
場所	ヒジメセンター 東京有楽町 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3F		
相手方等	地方の考察「社会保障フォーラム」事務局		
主催者、対応者、参加者、同行者等			
行程・活動内容	<p>8/7(水)</p> <ul style="list-style-type: none"> 13:00～14:30 児童虐待－児童福祉法の改正で地方自治体がやるべきことは? 14:40～16:10 空き家対策－都市の事情、地方の事情 16:20～17:50 「おやま世」で進め地域包括ケア・地域共生社会 <p>8/8(木)</p> <ul style="list-style-type: none"> 10:00～11:30 少子高齢化社会における訪問看護の役割－被災地の経験と教訓 12:30～14:00 認知症対策－その最新情報 14:10～14:55 Web版「年金広報」のご紹介 		

※日帰りの政務活動を含む。

第19回

社会保険旬報 地方から考える 社会保障フォーラム



少子高齢化が進展する中、人生100年時代と言われるようになりましたが、高齢期を健康で20年以上にわたり過ごすことが可能な社会では、どんな政策が必要なのでしょう。不足する社会保障制度の担い手をどう確保するのか、社会保障給付費の際限のない伸びをどう抑えていくのかなどの喫緊の課題について、今回も地方議員の皆様と政策担当者、専門家とで活発な意見交換の場を持ちませんか？

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

唐澤 剛氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、
佐久大学客員教授、前内閣官房まち・ひと・しごと
創生本部地方創生総括官

「ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会」

石坂 聡氏 国土交通省住宅局住宅総合整備課長

「空き家対策—都市の事情、地方の事情」

宮腰 奏子氏 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課
虐待防止対策推進室長

「児童虐待—
児童福祉法の改正で地方自治体がやるべきことは？」

田中 規倫氏 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室長

「認知症対策—その最新情報」

菅原 由美氏 全国訪問ボランティアナースの会代表

「少子高齢化社会における訪問看護の役割—
被災地の経験をまじえて」



※第18回「地方から考える「社会保障フォーラム」セミナーの様子

日時 **2019年8月7日(水)、8日(木)**

参加費 7月31日(水)までに27,000円(消費税込み)をお振込みください。

会場 (貸会議室) **ピンポンセンター東京有楽町** 〒104-0061 東京都中央区銀座1-6-2 銀座Aビル3階

定員 **100**

定員になり次第
締切

主催 社会保険旬報「社会保障フォーラム」実行委員会 事務局 〒100-0002 東京都千代田区千代田2-5-1 千代田ビル3階
TEL 03-5567-0919 FAX 03-5567-1001

協賛 日本年金機構 日本共済連合会 社会保険労務士会 日本労働組合総連合会 日本介護協会

8/7(水)

1日目

12:00~ 受付開始

12:45~ 開講の挨拶、オリエンテーション

13:00~14:00 **講義1**「児童虐待－児童福祉法の改正で地方自治体がやるべきことは？」
宮腰 奏子氏 厚生労働省子ども家庭局家庭福祉課虐待防止対策推進室長

14:00~14:30 討議(30分間)

14:30~14:40 休憩(10分間)

14:40~15:40 **講義2**「空き家対策－都市の事情、地方の事情」
石坂 聡氏 国土交通省住宅局住宅総合整備課長

15:40~16:10 討議(30分間)

16:10~16:20 休憩(10分間)

16:20~17:20 **講義3**「ごちゃまぜで進める地域包括ケア・地域共生社会」
唐澤 剛氏 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、佐久大学客員教授、
前内閣官房まち・ひと・しごと創生本部地方創生総括官

17:20~17:50 討議(30分間)

17:50~ 情報交換会 ※講師のご参加者はオリエンテーションにて告知します。

18:50 終了

8/8(木)

2日目

9:30~ 受付開始

10:00~11:00 **講義1**「少子高齢化社会における訪問看護の役割－被災地の経験をまじえて」
菅原 由美氏 全国訪問ボランティアナースの会代表

11:00~11:30 討議(30分間)

11:30~12:30 昼休み(60分間)

※12:20~12:30 **ランチブレイクセミナー** (株)社会保険出版社 太田 真吾「地方自治体における地域包括ケアシステムの取組例」

12:30~13:30 **講義2**「認知症対策－その最新情報」
田中 規倫氏 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室長

13:30~14:00 討議(30分間)

14:00~14:10 休憩(10分間)

14:10~14:55 **聴いてトクする**
社会保障 年友企画(株) 大山 均「Web版『年金広報』のご紹介」
(株)フィスメック 白崎 哲史「パウハラ防止法案」
(株)社会保険研究所 谷野 浩太郎「地域包括ケアシステムの10年をふり返る」

14:55~ 終了の挨拶 次回開催のお知らせ

15:00 終了

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. 527514J

RECEIPT

2019年8月5日

ご氏名 富山県議会公明党様

(ご注意) 本証に支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ¥ 25,860-

ただし 8/7-8 JRA 407 (富山-東京)

- 1. 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(カード)
- 5. その他()

上記金額正に領収いたしました。

日本旅行 50,000円以上

株式会社 日本旅行 NIPPON TRAVEL AGENCY, LTD.

TIS 富山 営業本部 06810 支店

収入印紙

責任者印

扱者名

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

領 収 証

岡山県議会公明党様

No. 954

宿泊代として

R1年8月7日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等()

取 入
印 紙

ホテルサニー

東京都荒川区西日暮里2丁目19番4号
TEL 03-3807-3200



〒730-0001

8-3

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

いつもご利用いただきありがとうございます。
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お振込種別	お振込元	お振込日
お振込	0017670	01-07-16
銀行番号	支店番号	口座番号
		106
002001000002010000040000		
時間	金額	お振込金額
10:53	¥540	¥27,000
おつり	お振込手数料	
¥0		
手数料のうち振込手数料 ¥540 000016		
三菱UFJ銀行 神保町支店 普通 0506395 ソカイホリヨウフォーラム サトウ サトコ 様 トヤマケンキカイ コウメイトウ ヨシタ ツトム 様 電話番号 [REDACTED]		

領収証

富山県議会公明党 様

¥27,000円

但

第19回 地方から考える「社会保障フォーラム」セミナー参加費として

2019年8月7日

上記正に領収いたしました

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-5-3

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局



件名:

第19回地方から考える「社会保障フォーラム」受付

富山県議会議員

吉田 勉 様

吉田先生、いつもお世話になっております。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局の佐藤と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

この度は、第19回地方から考える「社会保障フォーラム」に
お申込みをいただきましてありがとうございます。

先生のお申し込みを受け付け致しました。

ご参加費用(27,000円)を7月31日(水)までに
次の口座にお振込みくださいます様よろしくお願い申し上げます。.....
【振込先】三菱UFJ銀行 神保町支店
【振込口座名】社会保障フォーラム代表 佐藤聖子
(シャカイホショウフォーラムダイヒョウサトウサトコ)
【口座番号】(普)0506395
.....

*領収証を当日受付にてお渡し致します。

個人名以外の宛名をご希望の場合は、メール、FAXでご指示ください。ご用意いたします。

ご不明な点などございましたら、佐藤 [REDACTED] までお願いいたします。

地方から考える「社会保障フォーラム」事務局

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

株式会社 社保研 TIRARE 佐藤 聖子

〒101-0047

東京都千代田区内神田 2-5-3 虎谷ビル 3F

TEL 03-3253-0570 FAX 03-3527-1028

HP <http://tirare.jp> e-mail [REDACTED]

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

※ 第21期 自治政策講座 in 東京
 活力ある社会の実現に大切な自治体議員の役割
 「税金の使い方を決めよう 予算と決算」
 ※ 2019年 8月21日(水) ~ 8月22日(木)

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25,860円
	受講料	30,000円	
	振込手数料	756円	
	宿泊費	7,950円	8/21(水) 一泊
	《合計》	64,566円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

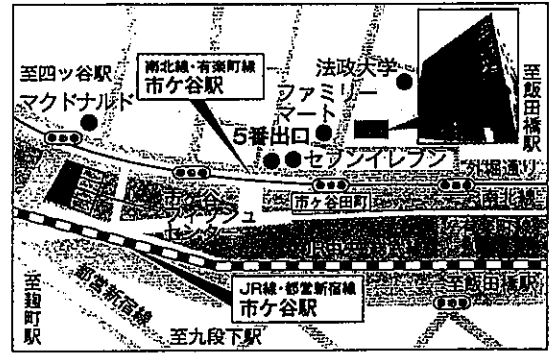
整理番号		会派・議員名	公明党 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	第21期 自治政策講座 in 東京 活力ある社会の実現に大切な自治体議員の役割		
日程	令和元年8月21日(水)～令和元年8月22日(木)		
場所	自動車会館 大会議室 東神奈川4代田区九段南4丁目8-13		
相手方等	自治体議会政策学会		
主催者、対応者、参加者、同行者等			
行程・活動内容	<p>8/21(水) 13:00～16:40</p> <p>第1講義 予算や議案を審議する議会のあり方</p> <p>第2 " 人口減少時代の総合計画・地域版総合戦略・コンパクトシティ政策</p> <p>8/22(木) 10:00～14:40</p> <p>第3講義 予算書・決算書の読みかた便覧</p> <p>第4 " 少子高齢・人口減少社会の行政サービス</p>		

※日帰りの政務活動を含む。

第21期 自治政策講座in東京

活力ある社会の実現に大切な自治体議員の役割

「税金の使い方を決める —— 予算と決算」



■JR/地下鉄市ヶ谷駅 徒歩5分

日 時 2019年8月21日(水)・22日(木)

場 所 こくほ21

お問合せ 自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827

「自治体議会の役割」。「自治体議員ができること」。今、地域に必要な議会の機能を発揮し創出し、困難な時代を住民と共に切り拓く議員の役割は何かを確認します。経験豊富な方も新人議員も現在の議会が消滅や減退の危機にあることを共有

し、重要な役割をもつ議会を再確認するプログラムです。団体自治の本旨に基き、議会自律権という基本から、「自治」を体現する議会を目指し必要な知識と思考方法を身に着ける講座です。

8月21日(水) 13:00~16:40

第1講義

予算や議案を審議する議会のあり方

竹下 譲(自治体議会政策学会会長)

議会が持つ団体意思決定機能の正統性は、公開の審議・討論によって担保されている。日本の地方自治の歴史を振り返り、何を目的に予算や議案の審議が行われるのかという視点から現在の議会運営などの問題点・改善点を明らかにする。

第2講義

人口減少時代の総合計画・地方版総合戦略・コンパクトシティ政策

一條 義治(三鷹市総務部調整担当部長)

本格的な人口減少時代に持続可能な都市を創るためには、総合計画や地方版総合戦略の策定において、人口や税収の的確な推計に基づく「EBPM-根拠に基づく政策立案」と、開かれた「多元・多層の市民参加」がポイントとなる。さらに、賑わいと活力のあるコンパクトなまちづくりの成功事例として、世界的にも注目される仏・独の先進都市のコンパクトシティ政策を多数の現地写真と資料を踏まえて学び、日本の自治体への応用の可能性を考える。

8月22日(木) 10:00~14:40

第3講義

予算書・決算書の読み方使い方

星野 泉(明治大学教授)

予算書・決算書を読みこなす使いこなすには、まず財政民主主義の3原則を基本に、自治体予算の意味をわかりやすく解説。予算書から補正予算や決算書へのつながりを読み解く演習を中心に予算編成期に差し掛かる時期の今、決算書を基に議論を広げるポイントを解説する。

第4講義

少子高齢・人口減少社会の行政サービス—高齢者福祉から考える

鏡 諭(淑徳大学コミュニティ政策学部教授)

少子高齢・人口減少社会が進んでいる地域では、公的なサービスによる生活の支えはどこまで行われるのか。高齢者福祉の現状をテーマに、現在の問題点や将来の不安を地域でどのように解決するのか。少子高齢化・人口減少社会と変容する中で、改めて行政や地域の役割を考える。

竹下 讓 (自治体議会政策学会会長/四日市看護医療大学地域研究機構・地域政策研究センター長)——8月21日(水) 第1講義

1940年生まれ。東北大学大学院法学研究科修了。政治学博士(明治大学)。東京市政調査会主任研究員、東京都立大学講師、明治大学講師、拓殖大学教授、ロンドン大学客員教授、神奈川大学教授などを経て、四日市大学教授。拓殖大学地方政治センター長を経て現職。2004年～2005年度三重県教育委員会委員長。

主な著書に、単著『地方議会 その現実と「改革」の方向』、『パリッシュにみる自治の機能—イギリス地方自治の基盤』、『ロンドンの政治史—議会・政党は何をしてきたか?』。監修『新版 世界の地方自治制度』(イマジン出版)。

一條義治 (三鷹市総務部調整担当部長)——8月21日(水) 第2講義

1991年、早稲田大学大学院政治学研究科修士過程修了後、三鷹市に入庁。生活文化部コミュニティ課、総務部文書課、小平市企画財政部企画課(派遣)を経て、2000年より企画部企画経課。司課では総合計画、行政評価、自治基本条例等を担当し、2011年は同課長として基本計画の策定を総括。2012年より総務部政

策法務課長、2015年からは総務部調整担当部長として同課長を兼務。単著に『これからの総合計画—人口減少での考え方・つくり方』第2版(2015年・イマジン出版)、『自治体行政マンが見た欧州コンパクトシティの挑戦—人口減少時代のまちづくり・総合計画・地方版総合戦略のために』(2019年・第一法規)。

星野 泉 (明治大学政治経済学部教授)——8月22日(木) 第3講義

1956年東京都生まれ。立教大学経済学部卒業、明治大学大学院博士前期課程修了、立教大学大学院博士後期課程研究指導修了。2005年、2006年、スウェーデンヨーテボリ大学客員研究員。日本地方自治学会理事、日本地方自治研究学会副会長。専攻は財政学、地方財政論。主な著書に、『改訂版 自治体財政がよく

わかる本』(イマジン出版)、『スウェーデン 高い税金と豊かな生活—ワークライフバランスの国際比較—』(イマジン出版)、『税のかたちは国のかたち—財政再建のための24のポイント—』(朝陽会) など。

鏡 諭 (淑徳大学コミュニティ政策学部教授)——8月22日(木) 第4講義

1954年山形県生まれ。1977年所沢市役所入庁、介護福祉課主査、高齢者支援課長、総合政策部政策審議担当参事を歴任後、2009年3月退職。同年4月から淑徳大学コミュニティ政策学部教授。2018年4月から学部長。法政大学大学院公共政策研究科兼任講師、元早稲田大学大学院社会科学部兼任講師、元関東学院

大学法学部兼任講師。専門は、自治体福祉政策論。著書に『介護保険制度の強さと脆さ』(2017年 公人の友社刊)、『Q&A福祉実務相談室』(2015年ぎょうせい) ほか多数。

お申し込み要領

1. 下記に必要事項をご記入の上、FAXでお申し込みください。
2. 受講料2日間参加/30,000円 1日のみ参加/20,000円
3. お申し込み後に送付します受講確認票に従って受講料をお振込ください。

※2日間参加の方には「修了証」を発行します。

申し込み用紙 **FAX : 03-5227-1828** 第21期 自治政策講座in東京

▼氏名 (フリガナ)		▼電話	▼FAX
吉田 勉		[REDACTED]	076-482-2078
▼住所		▼E-mail	
〒 930-0116 富山市道分草屋 49-3		富山県議会	
申込日に☑後 入れてください	全日程参加	1日のみ参加	
	<input checked="" type="checkbox"/> 8月21日(水)~22日(木)	<input type="checkbox"/> 8月21日(水)のみ参加	<input type="checkbox"/> 8月22日(木)のみ参加

参加者各位

2019年8月5日

「第21期自治政策講座 in 東京 活力ある社会の実現に大切な自治体議員の役割」

税金の使い方を決める—予算と決算

会場変更のお知らせ

自治体議会政策学会事務局

時下ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

標記自治政策講座につきましては、お陰様で多数のお申し込みをいただいております。

つきましては、より多くの方の利便性、快適性を確保するため、会場を下記の通り変更しましたのでご案内申し上げます。

各位には、間近になってのお知らせでご迷惑をおかけします。

お間違いのないようにお運びください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。

会場 <地図参照>

▽変更前 こくほ21

▽変更後 自動車会館大会議室（東京都千代田区九段南4丁目8-13）

アクセス：市ヶ谷駅

徒歩2分

予定会場でした「こくほ21」と下車駅は同じで、近くなります。

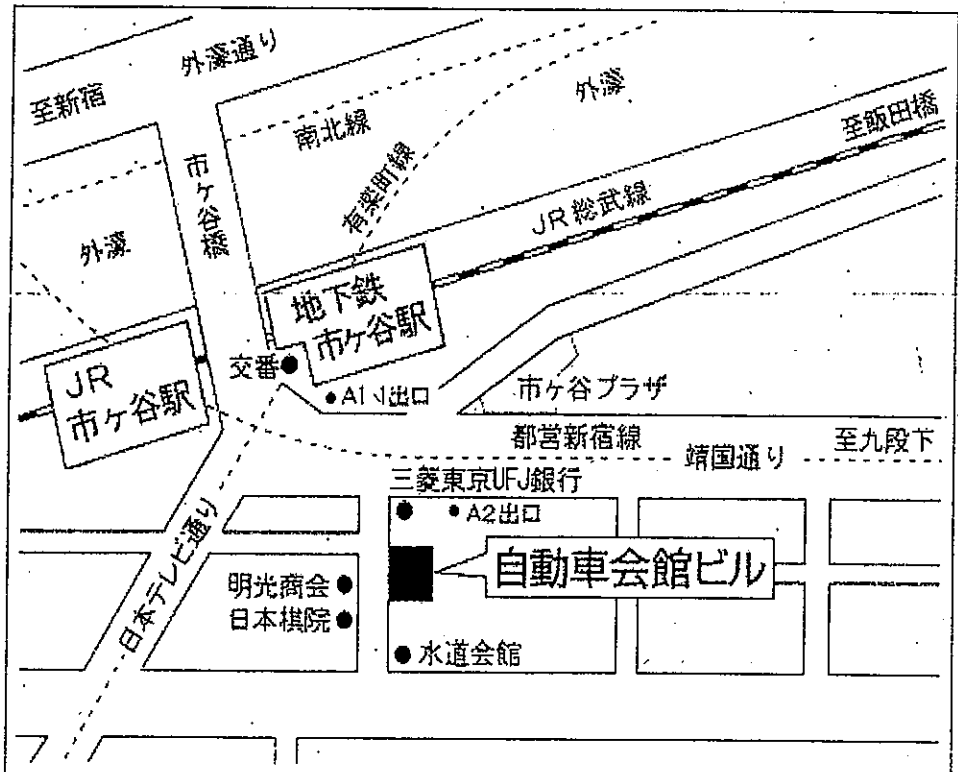
お問合せ先

自治体議会政策学会

03-5227-1827

当日お電話

090-5513-4405



修了証書

富山県議会

吉田 勉殿

あなたは、自治体議会政策学会の主催による
下記の講座を修了したことを証します。

2019年 第21期 自治政策講座 IN 東京

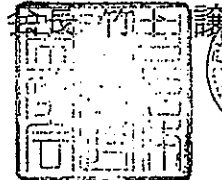
税金の使い方を決める

予算と決算

講座	開催日	講座名 / 講師
第1講義	8/21 (水)	予算や議案を審議する議会のあり方 竹下 譲 自治体議会政策学会会長
第2講義	8/21 (水)	人口減少時代の総合計画・地方版総合計画・ コンパクトシティ計画 一條 義治 三鷹市総務部調整担当部長
第3講義	8/22 (木)	予算書・決算書の読み方使い方 星野 泉 明治大学教授
第4講義	8/22 (木)	少子高齢・人口減少社会の行政サービス —高齢者福祉から考える 鏡 諭 淑徳大学コミュニティ政策学部教授

令和元年 8月22日

自治体議会政策学会



領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

第 1 1 号 議 会 公 明 党

様 No. 991

但 宿泊代として

2017年 8月 21日 上記証に領収いたしました

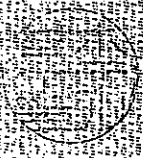
内 容

税抜金額
消費税額等(%)

収 入
印 紙

ホ テ ル サ ニ ー

東京都荒川区西日暮里2丁目10番4号
TEL 03-3807-3200



コクヨ クチ:1097

8-4

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

この領収書は、キャッシュカードサービスのご利用に
ご利用の明細は下記のとおりでございます。

お振込 0017673 01-07-16

106

003000000000010201000101

11:00 ¥756 お取引金額 ¥30,000

おつり ¥0

手数料のうち振込手数料 ¥756
000017

三井住友銀行
麹町支店
普通 1497025
ソチタイキカイセイサクカツガイ タ
イヒヨウカタオカコ様
トママケンキカイ コウメイトウ ヨリタ
ツトム様
電話番号

領 収 証

富山県議会 吉田 勉 様

No. _____

★ ¥30,000

但第2期自治政策講座 in 東京 受講料として

2019年 8月 27日 上記正に領収いたしました

〒112-0018 東京都文京区音羽1-5-8

イマジン第2オフィス

自治体議会政策学会

会長 竹



内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

収 入
印 紙

コクヨ ワケ-1097

8-4

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. 527515 J

RECEIPT

2019年 8月 5日

ご氏名 富山県議会公明党様

注意(ご注意)

本証に支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額

¥ 25,860-

ただし8/6-22 JRAにて
(富山-東京)

- (1) 現金
- (2) 小切手
- (3) 振込
- (4) クレジット(カード)
- (5) その他()

上記金額正に領収書も付いた。

50,000円以上

株式会社日本旅行

TiS 富山 06810

営業本部 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

担当者名

8-4

ご請求書

2019年08月02日(金)
No. 25 - 190308

〒930-0001

富山市明輪町1番230号クラルテ1階
株式会社日本旅行TIS富山支店

富山県議会 公明党 様

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

支店長: 林 良孝
担当: XXXXXXXXXX

ご請求金額: 25,860円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	単価	人員・数量	金額
08/21(水)	富山→東京 JR代金として	12,930	1	¥12,930
08/22(木)	東京→富山 JR代金として	12,930	1	¥12,930
合 計				¥25,860

※お支払いは、2019年08月05日(月)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

振込依頼書

年 月 日			金額 ¥25,860
百万	千	円	
振込先	みずほ銀行十五号支店		
受取人	預金種目	普通	口座番号
			3101833
	株式会社 日本旅行		
ご依頼人	25		
上記金額正に受け取りました。 平成 年 月 日			
銀行	収入印紙		
支店			

頼日依	年 月 日	電信掛	手数料		
振込先	みずほ銀行十五号支店		金額	百万	千
					円
			¥25,860		
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	現金	
			3101833		
	カブシキカイヤ ニホンリョコウ				
	株式会社 日本旅行				
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階				
	TEL (076) 433-1184		振替		
ご依頼人	(フリガ)				
		(おなまえ)			
	25				
	(おところ) (電話)				

出納印または振替印

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年10月2日

会派・議員名 公明党 志田 勉

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		紙本新聞	6,760円
	雑誌	6,144円	" " 3072円×2
	赤旗	6,994円	" " 3497円×2
	岡山県新聞	6,000円	4月～9月分
	(合計)	25,898円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2019年8月分 領収証 発証No. 00004567-201908-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額
¥3,380
(消費税込み)

※お客様の個人情報、自署場所において適切に管理し、新聞の配達・集金・販売所からの各種ご連絡、発行・印刷等の業務等に利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店
富山県富山市吉作486-38
076-436-2618

毎度ご購入有難うございます
上記金額正に領収致しました
年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

19年08月分 19年8月30日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072

富山新聞販売 (株)
富山センター 呉羽茶屋販売所
富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140

集金担当



各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

新聞雑誌名 部数 金額
日刊「しんぶん赤旗」 1 3,497

日本共産党発行の しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2019年8月分

上記の金額だけいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日 / 扱者

10-1

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2019年9月分 領収証 発証No. 00004567-201909-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額
¥3,380
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、第三者の提供・公表、転売等からの各種ご連絡、商品・価格等のご案内などに利用させていただきます

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジット決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

 北日本新聞



領収証

19年 09月分

19年 9月30日

No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

上記金額正に領収致しました。

銘柄	部数	金額
富山新聞	1	3,072



富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん 赤旗

領収書

3,497 円

2019年 9月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

投者



10-1

領 収 書
富山県議会議員 吉田 勉 様
¥6,000
期間:2019年4月-9月分 (購読料)
上記の金額を領収致しました
令和元年 9 月 10 日
(株)富山新聞社 代表取締役社長 廣瀬 〒930-0094 富山市安住町7番1号 電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番

お客様コードNo. XXXXXXXXXX

請 求 書

伝票No. 62

2019 年 9 月 10 日

(株)富山新聞社代表取締役社長 廣瀬
 富山市安住町7番1号 TEL076(494)1010 FAX076(494)1012
 富山第一銀行本店 (普)194888
 <取引銀行は富山銀行諏訪川原支店(当)1009096
 富山第一銀行本店 (普)194888

富山県議会議員会 吉田 勉 様

富山信用金庫本店 (普)495903

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新聞代 (2019年4月~9月分)	6		1,000	6,000 *	
(消費税合計)	444)				
合 計				6,000	

摘要

*は税込金額です。

10-1

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年10月2日

会派・議員名 公明党 吉田 颯

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・ <u>事務費</u> ・人件費		
(事業内容)				
備品購入				
上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考	
	インカーリッジ	6,231円	カーン純正イン	12462円 × 1/2
	《合計》	6,231円		
<p>《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)</p>				

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間 9:30~19:30
 ★DCMアプリ会員募集中!!
 ぐらしに役立つ動画やWEB予約など
 お得な情報をお届けします。
 アプリストアでDCMホーディングスと検索!!

クレジット明細

2019年09月04日(水)18:32 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク
 4960999971308 ¥6,004
 2コX単3002
 016 キヤノン 純正インク
 4960999918488 ¥6,458
 合計 ¥12,462
 (内税タイヨウ ¥12,462)
 (内税 ¥923)
 (税合計 ¥923)

クレジット ¥12,462
 お釣り ¥0
 お買上点数 3点

-----クレジット伝票タイトル開始-----
 クレジット売上票
 お客様控え
 この控えは大切に保存して下さい
 -----クレジット伝票タイトル終了-----
 カド*会社 5 -033

クレジットカード
 会員番号 XXXXXXXXXXXX
 有効期限 ****年**月
 お取扱日 2019年9月4日 伝票番号 04807
 商品区分 0000990 取引内容 お買上 取扱区分 110
 処理通番 4807 金額 ¥12,462
 承認番号 704807 税送料 ¥0
 2案内 合計 ¥12,462

4000-4807-00-00-0904-----

加盟店
 DCMカーマ
 呉羽店



レシートNo8167

店No00803

富山県
 公明党

領収証 (クレジット利用)

2019年09月04日(水)

¥12,462-

上記正に領収しました(消費税等 9.23円を含みます)
 商品代 (〒448-0046 愛知県刈谷市日高町4-101
 DCMカーマ 呉羽店 076-(434)-4000
 TEL上のお願い
 ※保管で保管願う場合は、印刷面を内側に折って保管願います。

0093-2716-8167

領収証明細

2019年09月04日(水)18:32 レシ*0093

016 キヤノン 純正インク
 4960999971308 ¥6,004
 2コX単3002
 016 キヤノン 純正インク
 4960999918488 ¥6,458
 合計 ¥12,462
 (内税タイヨウ ¥12,462)
 (内税 ¥923)
 (税合計 ¥923)
 お買上点数 3点



レシートNo8167

店No00803

10-2

政務活動費対象事業実績報告書

令和元 年 10 月 24 日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号		経費の項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	--	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

	経費の内容	金額(円)	備考
	上記事業に 要した経費	日本経済新聞	4,000円
日本教育新聞		16,500円	10月分～昨年3月分(6ヶ月分)
	《合計》	20,500円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証

富山県議会公明党様


No. _____

★ 4,000 円
但し 2/9月分として
1年 10月 2日 上記正に領収いたしました

取 入
印 紙

内訳
税抜金額
消費税額等 (%)

読売新聞 富山中央サービスセンター
株式会社 太田新聞店
〒930-0019 富山県富山市弥生町2-1-2
TEL. 076-433-2315

扱者印


領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

富山市新総曲輪

富山県議会公明党 様

(中15-13949)

〒930-0019 富山市弥生町2丁目1-2

株式会社 太田新聞店

代表取締役 太田 和彦

電話 (代表) 076-433-2315

ファックス 076-433-2316

取引銀行	口座番号
北陸銀行 清水町支店	(普) 6053909
富山信用金庫 元町支店	(普) 0491901
口座名義	(カ) オオタシンブンテン

請求書

令和 1 年 9 月度

¥4,000

品 目	数量	単 価	金 額	適 要
日本経済新聞	1	4000	¥4,000	
合 計			¥4,000	

上記の通り御請求申し上げます

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

No. 056571

領 収 証

吉田 勉 様

金額 ¥16,500-

但し購読料 2019/10月~2020/3月として
2019年 10月 7日 (郵便振替)



上記の金額正に領収致しました

印 収
紙 入

株式会社 日本教育新聞社

東京都港区白 10
〒108-8638 電話 03-3408-0008

扱
者
印

※上記発行先・金額の訂正は無効です。

請 求 書

2019年 10月 3日

富山県議会 公明党

吉田 勉

様

「日本教育新聞」をご購読賜りまして厚く御礼申し上げます。
下記の通りご請求申し上げます。
※お支払い方法についてはこの請求書の裏面をお読みください。

株式会社 日本教育新聞社

代表取締役社長 幹長

東京都港区白 10

電話 03 (3408) 0008

《お支払い先》

- ・振替払込 00150-8-196500
- ・銀行振込 みずほ銀行虎ノ門支店
普通預金 2835213
- ・口座名義 株式会社日本教育新聞社



合計請求額	16,500 円	読者コード	[REDACTED]	請求書番号	0004258141
-------	----------	-------	------------	-------	------------

(内税)

【お願い】 銀行からのご送金の際は、ご依頼人の前に上記の読者コードを入力してください。

	品 名	部 数	期 間	金 額	備 考
前回請求額				16,200 円	2019/04-2019/09
今回入金額				16,200 円	
差引繰越額				円	
今回請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,500 円	2019/10-2020/03
合計請求額	日本教育新聞	1部	6ヶ月分	16,500 円	2019/10-2020/03

政務活動費対象事業実績報告書

令和元年10月24日

会派・議員名 公明党 吉田 勉

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費	事務費 人件費
------	-------	---	---------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		蛍光灯	1485円
	フラットファイル	1100円 440円	2200円 × 1/2 (按分) 880円
		1925円	
	《合計》	1100円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領収証

No.

毎度ありがとうございます



吉田 勲

様

¥ 2970 -

但 螢光ペン 2箱
01 年 10 月 12 日 上記の金額正に領収いたしました

〒930-0138 富山市呉羽町6571


山口書店

TEL 076(436) 5576

FAX 076(434) 1603

日本法令 領収書

10-4

領 収 証		0108	
富山県議会 公明党 様		令和元年 10月4日	
金額	¥ 880 -	収 入	
但		印 紙	
上記の金額正に受領致しました。			
税抜金額 _____			
消費税額等 _____			
<input checked="checked" type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 小切手 <input type="checkbox"/> 振込 <input type="checkbox"/> 手形 <input type="checkbox"/> 相殺 <input type="checkbox"/> 値引			
株式会社 明文堂 富山市太郎丸西町1-1 TEL 424-4438(代) FAX 422-3279		担当者印 	

本証の金額を訂正した時及び担当者印なきものは無効と致します。

請求書 令和元年 10月4日 事務用文具・オフィス備品 通信機器

富山県議会 公明党 様 株式会社 **明文堂**
 代表取締役 山本 百 誠
 富山市太郎丸西町1-1
 TEL (076) 424-4438
 FAX (076) 422-3279

品名	規	数	単価	金額	備
フック 73512	7-V15Y	1	800	800	
小 計				800	
消 費 税				80	
上記の通り御請求申し上げます				税込合計	880

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費 <u>広域広域費</u> ・要請原信等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

県政報告制作費
令和元年9月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		県政報告制作費	200,000円
	企画編集料	60,000円	一式
	封筒制作費	50,000円	5000部作成
	消費税(10%)	31,000円	
	(合計)	341,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徹し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. _____

富山県議会 公明党 様

令和元年 10 月 9 日

¥ 34,100 -

内 訳
現金 ¥ _____

小切手 ¥ _____

振込 ¥ _____

但し

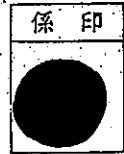
上記の金額正に領収いたしました



収 入 額
支払金額
消費税額等 (%)

三ノト印刷社

代表 山田 孝 三 郎
富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)
TEL (0764) 37-5777



10-5

請求書

No. _____

令和元年 10 月 日

富山県議公明党 様

三ノト印刷社

代表 山田 幸一郎

〒931-8334 富山県富山市三ノト町2丁目1-1
TEL & FAX (076) 437-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 341,000

月日	品名	数量	単価	金額		摘要
1	県政報告	500冊		200	000	
2	企画編集料一式			60	000	
3	政経本-3	5冊		50	000	
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
	小計			310	000	
	消費税			31	000	
	合計			341	000	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議会 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (令和元年9月)

〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444-3373

◆氷見市谷屋地区地すべり災害とその復旧



◆予兆の把握と的確な避難、抜本的な対策工と新たな空間の創出

◆氷見市谷屋の広場「谷屋とびたき いこいの杜」は2002年に発生した大規模地滑り現場の復旧事業として整備されました。谷屋地区の地すべりは、国道415号線から約100mの地点を地すべりの末端とし、幅210m、奥行き約90m、最大層厚約15m、地すべり土塊量約25万 m^3 の規模で発生しました。大規模な地すべりが、その兆候発見から滑動までわずか2日間程度という極めて短期間に滑動し、このような状況下において、行政、地元住民が一体となった適切な初期対応により、幸いにも人的な被害、2次災害を防ぐことができました。

(9/18 富山県議会砂防事業促進議員連盟 氷見市視察)

◆令和元年9月富山県議会定例会一般質問での「吉田つとむ」の質問!

問1 「武道館機能を有する多目的施設」の整備について

先月、健康・スポーツ環境充実検討会において、「武道館機能を有する多目的施設の整備が望ましい」との方向性が取りまとめられた。車いすバスケットボールなどの障害者の方々がスポーツに参加できる施設整備も必要と考えるが、今後どのように取り組むのか、スケジュールも含めて、所見を問う。

【石井知事 答弁】

武道館機能を有する多目的施設整備については、立地場所や整備計画、管理運営計画等の具体的な検討を進めていく必要があることから、今回の補正予算案で基本計画策定費を計上したところである。

私としては、多くの県民の方々に親しまれるよう、武道競技をはじめ多くの室内スポーツ競技、バスケットボールやバレーボール等の大会や練習会等に加え、音楽イベントなど様々なイベントも誘致できる施設とすることで、スポーツ振興、競技力向上や県民の健康増進、さらには地域の活性化に寄与するものとしていきたいと考えており、若い人たちに楽しいなと思ってもらえることも念頭において進めたい。3年7カ月後の北陸新幹線敦賀開業を念頭に、関西方面が近くなるが、うかうかすると富山駅も含め3駅が通過駅となってしまうといけない、様々な拠点性を高めないといけない。

できれば、その頃までに間に合うように、県議会ははじめ幅広い県民の皆様のご意見をいただきつつ、できるだけスピード感を持って検討を進め、今年度末までには、基本計画を取りまとめたいと考えている。

なお、車椅子バスケットボールなどの障害のある方々がスポーツに参加できる施設整備については、車椅子で転倒し傷ついた床がささくれとなり、剣道・なぎなた等裸足の競技者のケガの原因になるのではないかと懸念する声もいただいている。なお、最近では、床を分厚く特殊なワックスでコーティングすることで車いすが転倒しても傷が付きにくくする施工方法もあるとも聞くが、その場合でも効果が一定程度、限界があるとの指摘もある。今後、武道館としての機能を損なわない範囲で、できるだけ幅広い県民の方々にお使いいただけるよう、バリアフリーやユニバーサルデザインを考慮した施設機能についても、基本計画策定委員会において必要な研究・検討を行ってまいりたい。

問2 「消費税対策」について

(1) 来月からの消費税率の引上げに向け、景気・経済への影響を最小限に抑えるため、キャッシュレス決済時のポイント還元制度など、十分な対策が講じられているが、本県における対策の準備状況について、問う。

【芝田商工労働部長 答弁】

消費税率の引上げによる需要変動の平準化対策として、中小小売店等においてキャッシュレス決済を行う場合のポイント還元が、10月から予定されている。

これまでも国や商工団体でも説明会を行うなど取り組んでいるが、県でも、①国と連携し、県内企業の導入事例紹介や個別相談等を行うセミナーや、経済産業省と共催で説明会を開催したほか、②商工団体等を通して、相談対応、専門家派遣などの支援を行ってきた。

県内のキャッシュレス決済導入状況については、県内10商店街において、導入状況を調査したところ、回答のあった237店舗のうち、「導入済」と「導入を検討している店」が合わせて約65%、153店舗という結果であった。「導入予定なし」の理由としては、「顧客の需要がない」、「後継者がおらず投資は控えたい」等であることから、キャッシュレス決済導入に意欲のある事業者については、一定程度、準備が進んでいるものと認識している。

9月5日現在、ポイント還元事業における県内の加盟店登録申請件数は約6千店で、全国と同様、中小小売店の約3割となっている。

県としては、事業者の認識が不足していると思われるポイント還元の対象店となるための登録方法を重点的に周知するため、直前の対策として、9月2日から、①チラシの作成・配布、②県と商工団体の連携による巡回訪問や相談対応の強化などを行う「消費税率引上げ対策促進キャンペーン」を実施している。引き続き、商工団体と連携し、事業者へのPRに努めてまいりたい。

問2 「消費税対策」について

(2) 消費税率の引上げと同時に実施される軽減税率の円滑な実施には、中小企業・小規模事業者の準備が必要なが、軽減税率に対応したレジ等の導入状況、国補助金の活用状況はどうか、また、県として補助制度の周知にどのように取り組んでいるのか、併せて問う。

【芝田商工労働部長 答弁】

消費税率引上げに伴う軽減税率導入については、これまでも、国や商工団体が中心となり、説明会を開催するなど周知されてきた。商工会議所や商工会だけでも約90回開催している。国によると、8月末のレジ補助金の申請件数は、全国で約12万6千件で想定補助件数30万件的約4割とされている。このうち県内からの申請は約1,000件で、全国同様、想定約4割となっている。

また、一時レジメーカーからは、軽減税率対応レジが品薄との声も聞いているが、先般の経済産業大臣の会見では、特に軽減税率対応レジ導入の必要性が高い事業者23万3千社程度に対し、9月末で約24万台のレジが導入される見込みであり、対応が必要な事業者にいきわたるだけの供給はできつつあるとの見解が示されたところである。消費税率引上げの直前対策として、国では、商工団体とも連携し、全国7,000人の経営指導員による商店街

や小規模店舗への個別訪問や、きめ細かい情報提供、コールセンターの体制強化により、周知の強化を図ることとしている。

県においては、すでに9月2日から商工団体と連携し、「消費税率引上げ対策促進キャンペーン」を実施しており、県職員も商店街や個別の商店を訪問し、軽減税率対応レジの補助金申請の流れや期限などについて重点的に周知しているところである。引き続き軽減税率対応レジの円滑な導入に努めてまいりたい。

問3 「防災意識社会の構築」について

災害時に高齢者や障害者等の災害弱者の避難支援がスムーズに行えるよう、地域住民が避難計画を立てる「地区防災計画」の策定状況と課題はどうか、また、防災訓練や防災イベントを含めた地域防災教育など、住民一人一人の災害対応力や防災技術・知識を養う「防災リテラシー」向上のため、どのように取り組むのか、併せて問う。

【竹野危機管理監 答弁】

地区防災計画は、地域の防災力を高めるために創設された制度であり、住民自らが計画策定に取り組むことにより、自助・共助による自発的な防災活動を推進するもので、県内の策定状況については、本年4月時点で4地区で策定済み、5地区が計画策定に向けて活動中となっている。

計画策定の課題としては、①多様な住民の参加が求められるため、地域全体の意識の高まりが必要なこと、②意見をまとめる防災に関する知識、意欲をもったリーダーが必要なこと、③防災マップづくりなど作成の手間がかかること、などがあると認識している。

課題の中でも、とりわけ、多くの住民参加、地域全体の意識の高まりが重要であり、そのためには、住民一人一人が地域の防災に関心を持ってもらう必要があることから、県ではこれまでも防災訓練やイベント等を通じた防災意識の向上、防災知識等の普及啓発に努めている。具体的には、①今月実施する県総合防災訓練での住民避難訓練や防災意識啓発のための災害体験の実施、②学校や職場、地域で県民が参加し、地震発生直後の身を守るための安全確保行動を身に付ける一斉防災訓練「シェイクアウトとやま」の実施、③講演会や出前県庁の実施、④小中学生用の地震・津波防災ハンドブックの作成・配布などを行っている。

今後とも、市町村と連携しながら、自主防災組織の活動を支援するとともに、防災訓練などにより、住民一人一人への防災知識の普及啓発等に取り組む、地区防災計画の策定促進につなげてまいりたい。

問4 児童虐待の防止強化について

今回の改正法は、「子ども命を守ること」を最優先の目的として成立しているが、本県における児童虐待の実態をどのように捉え、児童相談所の現状や課題を踏まえて、今後どのように取り組んで行くのか、所見を問う。改正法では、DV対応機関との連携強化も規定されている。また、児童相談所と医療機関・保育所などとの情報共有の強化や未就園児を持つ家庭への訪問事業もしっかりと進めていく必要があるなど、対応すべき事項は多い。

【石井知事 答弁】

児童虐待相談対応件数は、平成30年度で848件と6.8%増加しているが、これまで、児童福祉司等の増員、児童福祉司を相当大幅に増員したり、関係機関への定期的な研修の実施、乳児家庭全戸訪問事業等市町村事業への支援など、児童相談所の体制強化や市町村の相談体制強化、関係機関との連携強化に努めてきたこともあり、内容を見ると件数は増えているが施設入所等が必要な比較的重い案件は増加していない。

一方で、6月の児童福祉法の改正等で、①増加、複雑化する相談にきめ細かく対応するために、児童福祉司の配置基準が、人口4万人に一人から3万人に一人とされたり、里親養育支援や市町村支援担当児童福祉司を配置することとされたこと、②保護者への指導を効果的に行うため、児童の一時保護等を行った児童福祉司以外の者に保護者への指導を行わせること、③DVと児童虐待が重複して起きている、他の自治体での重篤な事例もあることに対応するため、配偶者暴力相談支援センターとの連携が明記されたこと、などから、今後更に、児童相談体制の強化や関係機関との連携強化が求められている。

そのため、県としては、去る8月に関係機関や有識者からなる検討委員会を設置し、第1回目の会議を開催したところであるが、その際の委員からのご意見も踏まえ、9月補正予算案に児童相談所の情報管理システム整備や新たな研修実施等を盛り込み、検査用具の購入、児童相談所機能の強化等を図ったところである。今後、法改正に対応し、児童相談所の人員体制を強化していくとともに、検討委員会で医療機関・保育所・学校や配偶者暴力相談支援センターなど関係機関との連携強化等について更に検討を進め、議会でのご意見も伺い、児童虐待の早期発見・早期対応から自立支援までの一連の施策の充実にスピード感をもって取り組んでまいりたい。

問4 富山県SDGs未来都市について

地方創生のさらなる深化に向け、先月策定された「富山県SDGs未来都市計画」における各種施策の指標も踏まえ、中長期を見通した持続可能なまちづくりが重要と考えるが、今後、どのように取り組んでいくのか、問う。

【石井知事 答弁】

「富山県SDGs未来都市計画」においては、経済、社会、環境面それぞれにおいて、中長期を見通した持続可能な県づくりのため、地方創生に資する具体的な施策とその成果指標（KPI）を設定したところである。具体的には、（1）経済面では、①「立山黒部」の世界ブランド化、②「世界で最も美しい富山湾」の活用、③水産業の振興と富山湾のさかなのブランド力向上、④再生可能エネルギーの導入、新たなエネルギーの利用に向けた開発の促進に取り組むこととしている。また、（2）社会面では、①循環型社会・低炭素社会づくりの推進、②「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けた「とやまモデル」の確立に取り組むこととしている。食品ロス削減の取組みなども含む。さらに、（3）環境面では、①立山黒部をはじめとする雄大で美しく豊かな自然環境の保全、②環日本海地域の環境保全への国際貢献、③清らかな水資源の保全と活用、④水と緑の森づくりに取り組むこととしたところである。

県としては、こうした施策に取り組むことが、持続可能な県づくりに結びつくと考えており、今回策定した計画に沿って、今後取り組むべき課題を見据えた上で、施策毎のKPI達成に向け、関係事業を着実に実施していくこととしている。その中には黒部ルート的一般開放・旅行商品化、「富山のさかな・水産加工品」のブランド力向上と販路拡大、小水力発電等の導入等々ある。

また、SDGsに掲げられている「17のゴール」が幅広い政策分野にわたっていることなどSDGsに対する県民の理解を深めるため、富山県SDGs未来都市選定記念フォーラムを開催、講師には政府審議会の中心的に活躍された藤田先生を講師として呼びました。また、経済団体、環境団体、消費者団体等の事務の総括責任者で構成する「富山県SDGs推進連絡協議会」を立ち上げ、SDGsの観点を取り入れた取組みを県全体で推進していくこととしている。今後とも、SDGsの観点を取り入れた地方創生の推進と持続可能な県づくりにしっかりと努めてまいりたい。

10月に本県で開催される「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会やJC全国大会においても、本県の先駆的な環境保全に向けた活動について、SDGsとも関連付けた上で、国内外に発信していきたい。

◆（仮称）富山南警察署新築工事安全祈願祭



④（仮称）富山南警察署は、富山市内の4警察署を3警察署体制とする「富山市内警察署再編計画」に基づき、富山市南部地域の安全・安心を確保するため、多様な事案に的確に対応できる治安拠点施設として新築します。令和2年9月竣工予定。事業費31億3千万円。（R1/7/26）

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

料金別納
郵便

--	--	--	--	--	--	--



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078
E-mail: yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・ <u>広報広報費</u> ・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	--

(事業内容)

県政報告書(9月定例会)郵送料

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		郵便運賃料金	138,380円
	折込み料金	71,225円	
	《合計》	209,605円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を微し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付きれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

富山県議会公明党様 2019年10月22日

★ 7/1225

但 メール封入作業
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等 (%)

富山県射水市小島1214
北山ニ三代



領 収 証

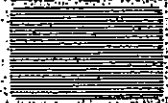
DE 690862

富山県議会 公明党 様

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

領収金額 **¥138,380**
(うち、消費税額等 ¥12,210)

但し、10月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。 2019年10月22日



本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2-3-10

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

振 込 印

振込印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

請求書

2019年10月22日 No. _____

富山県議会公明党様

富山県新水市小島1-1-1
北山二三

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額				税率	消費税額等
				%	
月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)	摘要
10	1 マール封入作業	205	15	71225	
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
	8				
	9				
	10				
	11				
	12				
合計				71225	

ご請求書

〒 930-0116
富山県富山市追分茶屋 49-3

ご請求年月日 2019年10月15日
お支払予定日 2019年10月31日
支払方法 集金

富山県議会 公明党 様

下記の金額をご請求申し上げます。

ご請求金額 **¥138,380**
(うち消費税額等 ¥12,210)

品名	数量	単価	金額
10%	138,380		12,210
軽減8%	0		0
8%	0		0
その他	0		0

請求書No. **75523** お客様コード **[REDACTED]**

銀行振込、口座振替も承っております。詳しくは弊社担当までご相談下さい。

銀行	支店	普通預金	口座名義
*****	*****	*****	*****

*は軽減税率適用商品です。

ヤマト運輸株式会社



富山主管支店
担当店：富山呉羽センター
〒939-0285
射水市
本開発305-1

請求書についてのお問合せ：
0766-55-1934
集荷・配送についてのお問合せ：
0570-200-000 (ナビダイヤル)

ホームページアドレス
<http://www.kuronekoyamato.co.jp/>

044-120

品番	数量	品名	単位	数量	単価	金額	消費税	合計	備考
1015	1744192376	クロネコDM便	2035	138380	126170	0	0	12210	

	数量	金額合計	消費税	消費税	消費税	消費税
小計	2035	138380	126170	0	0	12210
合計	2035	138380	126170	0	0	12210

整理番号	経費の項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報広報費 英語研修等活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 事務所費 事務費 人件費
------	-------	--

(事業内容)

※ 地方議員 研究会 10/17(木)~10/18(金)
 公共施設 マジックと公会計改革in東京
 TKP 東京駅ハル洲カンファレンスセンター

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		JR代金	31,260円
	ホテル代金	10,000円	10/17 一泊
	受講料	60,000円	
	振込手数料	970円	
	《合計》	102,030円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号		会派・議員名 公明党 吉田 勉
活動名称	研修費	
目的	公共施設マネジメントと公会計改革	
日程	令和元年10月17日(木)～令和元年10月18日(金)	
場所	TKP東京駅八重洲 カンパリスセンター	
〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕		
相手方等	地方議員研究会	
〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕		
行程・活動内容		
<p>① 10/17(木)</p> <p>10:00～12:30 財政問題としての公共施設マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面積縮減の目標設定についてはミスリード ・「総論賛成各論反対」を突破できる ・財政破綻を回避するためのマネジメント <p>14:00～16:30 公共施設マネジメントから始まる本格的行政改革</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公会計改革で、見直し膨大な維持管理費 ・公共施設は使われていない ・民間資金・ノウハウの徹底活用 <p>② 10/18(金)</p> <p>10:00～12:30 指定管理者制度で「稼ぐ施設」の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・容易な「指定管理者制度は全部を委託」 ・指定管理料ゼロも可能に ・間違いないリスク分理と評価 <p>14:00～16:30 公会計改革における自治体「経営」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「力」は「人」と「資産」で「経営」 ・コストが見えれば、「改革」が見える ・決算重視と成果指標の設定 		

※日帰りの政務活動を含む。

公共施設マネジメントと 公会計改革 in 東京

10/17 木

10:00~12:30

財政問題としての 公共施設 マネジメント

- ・面積縮減の目標設定だけではミスリード
- ・「総論賛成各論反対」は突破できる
- ・財政破綻を回避するためのマネジメント

14:00~16:30

公共施設マネジメント から始まる 本格的行政改革

- ・公会計改革で、見えた膨大な維持管理費
- ・公共施設は使われていなかった
- ・民間資金・ノウハウの徹底活用

10/18 金

10:00~12:30

指定管理者制度で 「稼ぐ施設」の 実現

- ・誤解だった「指定管理者制度は全部を委託」
- ・指定管理料ゼロも可能に
- ・間違いだらけのリスク分担と評価

14:00~16:30

公会計改革による 自治体「経営」

- ・「カネ」はなくとも「資産」で経営
- ・フルコストが見えれば、「改革」が見える
- ・決算重視と成果指標の設定

講師ご紹介

南 学

東洋大学経済学研究科公民連携専攻客員教授、三重県政策アドバイザー(行財政改革専門委員会委員)、さいたま市公共施設再配置検討委員会委員、鎌倉市公共施設再編計画策定委員会委員、習志野市新庁舎建設基本構想策定市民委員会委員、高浜市公共施設マネジメント委員会委員長、相模原市公共施設再配置検討委員会委員長、所沢市総合計画審議会会長、八千代市公共施設検討委員会委員、北茨城市行政改革推進委員会委員長

東京大学卒業後、横浜市役所に入職。環境事業部、経済局、総務局、市立大学事務局、市長室、企画局を歴任。2000年から静岡文化芸術大学助教授。2002年から横浜市参事。2004年から神田外語大学教授。2005年から横浜市立大学理事兼教務。2011年から神奈川大学人間科学部特任教授を経て、現職。自治体行政サービスのABC分析で先駆的な研究を公表。著書に「自治体ABC」シリーズの「事業者評価」「行政経費」「自治体ABC」によるコスト把握」等。論文・報告書に「公共施設マネジメント」(「地方財務」連載中)等。



↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは  FAX または  メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。
「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

 メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

 FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

	10月17日(木)	10月18日(金)
10:00 12:30	<input checked="" type="checkbox"/> 財政問題としての 公共施設マネジメント	<input checked="" type="checkbox"/> 指定管理者制度で 「稼ぐ施設」の実現
14:00 16:30	<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設マネジメントから 始まる本格的行政改革	<input checked="" type="checkbox"/> 公会計改革による 自治体「経営」

お名前	(フリガナ)ヨシダ ツトム	貴議会名	富山県議会 (3期目)
電話番号	([REDACTED])	FAX番号	(076) 482-2078
E-mail	yosidatutomu @ mb.infoweb.ne.jp		
領収証宛名	ご本人様名・その他(富山県議会 公明党)		
当日不参加の場合はチェックください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はしないことに同意して申込みます		

開催場所
TKP東京駅八重洲
カンファレンスセンター
[4講座同場所] 〒104-8388東京都中央区
京橋1-7-1戸田ビルディング

受講料
1講座 15,000円(税込)
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局

地方議員研究会

TEL 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308
メール mail@chihogiken.jp
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639



東京駅 八重洲中央口より 徒歩5分
赤い「紳士服コナガ」の看板が目印

当研究会が主催する企業・団体から案内チラシが届くとの相談が寄せられておりますが、当社とは全く関係ございません。
また、当研究会のウェブサイト等も同じ悪質な団体もございますので、お間違いのないようご注意ください。

ご請求書

2019年10月10日(木)

No. 25-190420

〒930-0001

富山市明輪町1番230号クラルテ1階

株式会社日本旅行TiS富山支店

富山県議会 公明党 様

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

支店長: 林 良孝

担当者: XXXXXXXXXX

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 41,260円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	税区分	単価	人員・数量	金額
10/17(木)	JR代金(富山駅⇄東京駅)	10%	31,260	1	¥31,260
	ホテル代金	10%	10,000	1	¥10,000
合 計					¥41,260
消費税区分 (内訳)	10%対象合計				¥41,260
	8%対象合計				
	(軽減税率8%適用) 8%※対象合計				
	対象外合計				

※お支払いは、2019年10月10日(木)までに、お支払い下さい。

※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

金額	年 月 日	百万	千	円
¥41,260				
振込先	みずほ銀行十五号支店			
受取人	預金種目	普通	口座番号	3101833
	株式会社 日本旅行			
ご依頼人	25			
上記金額正に受け取りました。				
年 月 日				
銀行	収入印紙			
支店				

振込依頼書

額ご依頼	年 月 日	電信	手数料	
振込先	みずほ銀行十五号支店		金額	百万 千 円
				¥41,260
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101833
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ			
ご依頼人	株式会社 日本旅行			
	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階 TEL (076) 433-1184			
ご依頼人	(フリガ)			
	(おなまえ)			
ご依頼人	25			
	(おところ) (電話)			
出納印または振替印				

領 収 証

No. 617808 J

RECEIPT

2019年10月28日

ご氏名 富山県議会公明党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ¥ 41,260-

ただし10/17-18、JR分金とし
(現金/交通系ICカード/現金)

- (1) 現金
- (2) 小切手
- (3) 振込
- (4) クレジット(カード)
- (5) その他()

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行 NISSAN 富山 営業本部 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY



担当者名

10-7

領 収 証

富山県議会公明党 様 2019年10月17日

★ **¥60,000**

但 10/17.18 「公共施設マネジメントと公会計改革」
4講座 研修会受講代として

上記正に領収いたしました



一般社団法人地方議員研究会
〒532-0004
大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639
TEL 06 (7878) 6297

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

お取引の種別	お振込	0042552	01-10-04
銀行番号	預金番	0106	
006000000000010201020000			
時間	金額	金額	
11:34	¥770	¥60,000	
おつぎ	現金		
¥0			

手数料のうち振込手数料 ¥770
000007

楽天銀行
第二営業支店
普通 7520919
ソラチホウキインケンキウカイ 様
トヤマケンキウカイ ヨシタツトム 様
電話番号 076-434-3909

10-7

令和元年10月4日

富山県議会
吉田 勉 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
(月～金 9時～17時)
FAX 06-7878-6308

入金確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

受講料のお振込みを下記のとおり確認いたしました。

領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- ・受講日 令和元年10月17日10:00～12:30、10月17日14:00～16:30、
10月18日10:00～12:30、10月18日14:00～16:30【東京】
- ・受講料 1講座 15,000円 × 4講座 = 60,000円
- ・領収証宛名 富山県議会公明党 様
- ・お振込み日 令和元年10月4日
- ・お振込み名義人 富山県議会 吉田 勉 様

※当日は会場1階の案内をご覧の上、会議室までお越しください。

令和元年10月3日

富山県議会
吉田 勉 様

地方議員研究会
セミナー事務局
電話 06-7878-6297
(月～金 9時～17時)
FAX 06-7878-6308

受講確認書

このたびは、地方議員研究会主催 研修会にお申込みいただきありがとうございます。

お申込みいただきました内容を下記のとおりご確認申し上げます。
つきましては、お確かめのうえ、*事前に受講料のお振込みをお願いいたします。
お申込みをいただきました時点で、お席は確保させていただいております。
キャンセルの場合は、*必ずご連絡をお願いいたします。(*開催約一週間前まで)

お振込み確認後、入金確認のご連絡をいたします。
領収証は、当日会場にてお渡しいたします。

ご宿泊施設につきましては、恐れ入りますが各自でご手配ください。
当日のご参加をお待ちいたしております。

記

- 受講日 令和元年10月17日10:00～12:30、10月17日14:00～16:30、
10月18日10:00～12:30、10月18日14:00～16:30【東京】
- 受講料 1講座 15,000円 × 4講座 = 60,000円
- 領収証宛名 富山県議会公明党 様

【 受講料 お振込み口座 】
楽天銀行 第二営業支店
普通 7520919
名義 (社)地方議員研究会

整理番号	経費の項目	調査研究費	研修費	広報広報費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-------	-----	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

- 全国過疎課題 シンポジウム2019 in あおもり
 地域の食・文化・人を育む「農山漁村」を
 ～経済を回して維持・発展の道づくり～
- 10/31(木)～11/1(金)
- 10/31 全体会 (リンゴEP 平安閣市民ホール)
- 11/1 分科会 (七戸町観光交流センター)

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		航空券代金	39280円
	〃	32880円	青森→羽田→高山 11/1(金)
	JR代金	3260円	七戸+和歌山→青森
	バス代金	1420円	新青森↔青森左港 710円×2
	全体会参加費	4000円	全体会、交流会
	分科会	1200円	七戸町(初4分科会)
	宿泊費	8000円	シンポジウム・朝食代
	振込手数料	560円	
	(合計)	90590円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を揃え、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

県外・海外政務活動報告書

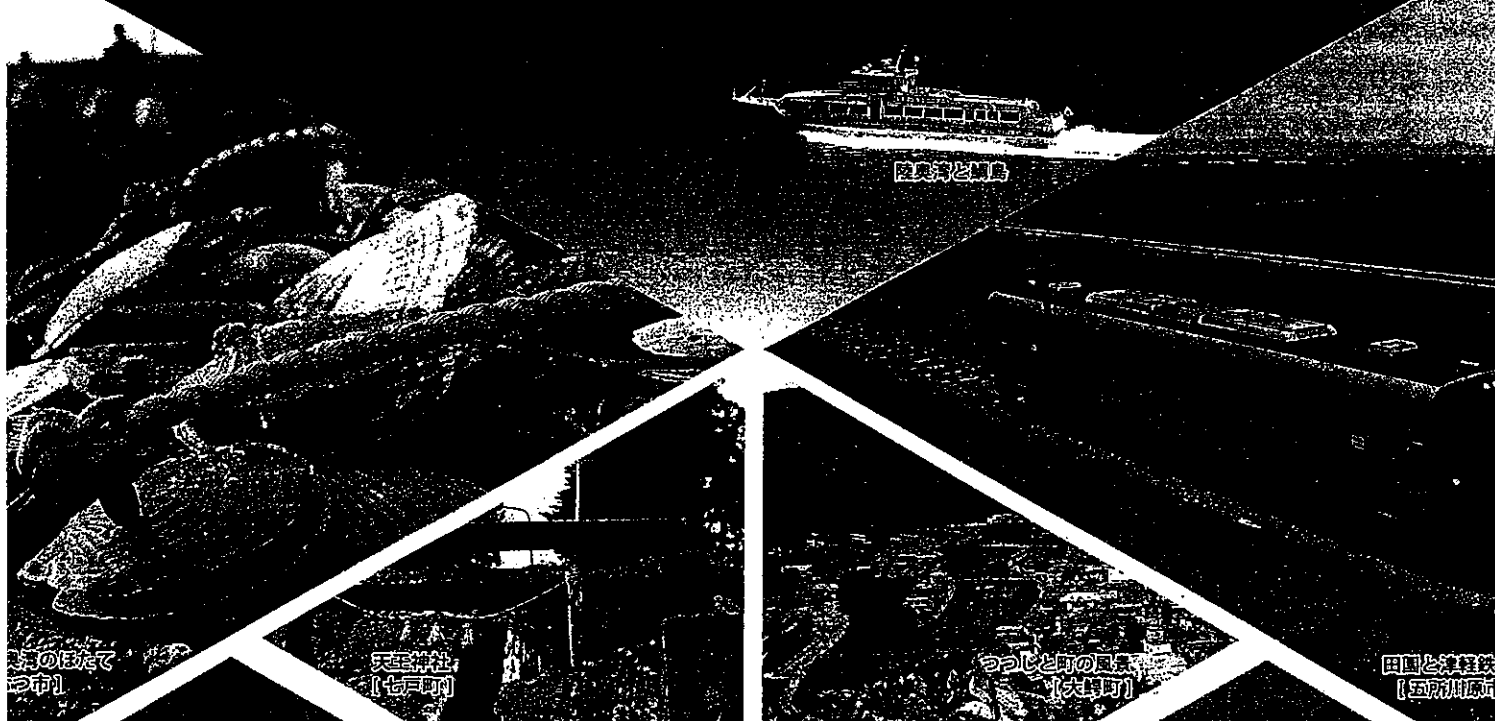
令和元年11月6日

整理番号		会派・議員名	公職 吉田 勉
活動名称	研修費		
目的	全国過疎問題シンポジウム 2019 in あおもり		
日程	令和元年10月31日(木)～令和元年11月1日(金)		
場所 <small>〔国名・都市名、施設名、訪問先等〕</small>	リンゴの平野閣市民ホール (青森) (全体会) 七戸町観光交流センター (分科会)		
相手方等 <small>〔主催者、対応者、参加者、同行者等〕</small>	総務省, 全国過疎問題シンポジウム実行委員会		
<p>行程・活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 10/31(木) 全体会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年 過疎地域自立活性化優良事例表彰式 ・ 基調講演 「地域創生 成功の方程式」 「五感六育 専学構想と実現」 木村俊昭氏 (東京農業大学教授) ・ ハズレテラスセッション 11/1(金) 分科会 <ul style="list-style-type: none"> ・ 現地取組紹介・現地視察 社会福祉会 - 七戸町観光交流センター - 			

※日帰りの政務活動を含む。

地域の食・文化・人を育む「農山漁村」を守る
～経済を回して維持・発展する仕組みづくり～

全国過疎問題シンポジウム 2019 in あおもり



開催期間：令和元年

10/31 木

11/1 金

全体会 / リンクモア平安閣市民ホール

- 令和元年度 過疎地域自立活性化優良事例表彰式
- 基調講演「地域創生 成功の方程式
—『五感六育』事業構想と実現—」
木村俊昭氏 (東京農業大学教授、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事)
- パネルディスカッション

交流会 / 青森国際ホテル

分科会

過疎地域自立活性化優良事例発表会、現地取組紹介
現地取組紹介・現地視察先

- 五所川原市 (斜陽館、立佞武多の館 ほか)
- 大鰐町 (大鰐温泉もやし生産農家、大鰐観光りんご園 ほか)
- むつ市 (コミュニティセンター脇野沢温泉 ほか)
- 七戸町 (七戸町観光交流センター、旧南部縦貫鉄道レールバス ほか)

主催 / 総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会 (青森県、全国過疎地域自立促進連盟、全国山村過疎地域振興連盟青森県支部)

後援 / 農林水産省、国土交通省、全国知事会、全国都道府県議会連合会、全国市長会、全国市議会連合会、全国町村会、全国町村議会連合会、全国山村振興連盟、一般財団法人地域活性化センター、青森県市長会、青森県市議会連合会、青森県町村会、青森県町村議会連合会、公益財団法人青森県市町村振興協会、朝日新聞青森総局、毎日新聞青森支局、読売新聞青森支局、産経新聞青森支局、共同通信社青森支局、時事通信社青森支局、日刊工業新聞社、河北新報社、東奥日報社、デーリー東北新聞社、奥新報社、NHK青森放送局、青森放送、青森朝日放送、青森テレビ、フジテレビ報道局青森支局、エフエム青森、青森ケーブルテレビ株式会社

「全国過疎問題シンポジウム2019inあおもり」開催のご案内

《大会趣旨》

日本全体において人口が減少局面にある中、特に過疎地域では人口減少や少子高齢化の進展による地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、さまざまな課題に直面しています。

一方で、これらの地域は豊かな自然や農地・森林などを有し、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止などを通して、地域内のみならず、都市を含めた人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担っています。

このことから、過疎地域のさまざまな取組について、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機とするため「全国過疎問題シンポジウム2019inあおもり」を開催します。

10月31日 ㊦ 全体会・交流会（青森市）

全体会（青森市）

リンクモア平安閣市民ホール

12:00 受付開始

13:00 開会式

- ・開会宣言 全国山村過疎地域振興連盟青森県支部支部長（大舘町長）
- ・主催者挨拶 総務大臣
- ・歓迎挨拶 青森県知事

13:20 令和元年度

過疎地域自立活性化優良事例表彰式

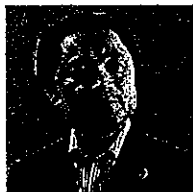
13:50 休憩 ※優良事例受賞者記念撮影

14:05 基調講演

「地域創生 成功の方程式」

－「五感六育」事業構想と実現－

講師 木村 俊昭 氏



15:00 情報提供

15:15 休憩

15:25 パネルディスカッション

「地域の食・文化・人を育む『農山漁村』を守る
～経済を回して維持・発展する仕組みづくり～」

〔コーディネーター〕

- ・ 岡司 直也 氏（法政大学現代福祉学部 教授）
〔パネリスト〕
- ・ 玉沖 仁美 氏（株式会社 紡 代表取締役）
- ・ 小松 圭子 氏（有限会社 はたやま 代表取締役社長）
- ・ 高橋 哲史 氏（株式会社 百姓堂本舗 代表取締役）
- ・ 根市 大樹 氏（合同会社 南部どき 代表社員）

16:55 次期開催県紹介

17:00 閉会

（東京農業大学教授、一般社団法人日本事業構想研究所代表理事）
1960年北海道生まれ。
1984年に小樽市入庁後、内閣官房や農林水産省に出向。
スーパー公務員として数々のテレビに出演する。
著書に『自分たちの力でできる「まちおこし」』など

交流会（青森市）

青森国際ホテル

17:30 交流会受付開始

18:00 交流会

19:30 閉会

- ・交流会参加費 お一人様 4,000円
青森の食材を使用したお料理で
皆様のご参加をお待ちしております。



■マクロ解剖ショー実演予定!!

11月1日(金) 分科会・現地視察 (五所川原市 / 大鰐町)

※ 第1・第2分科会は、午前中に青森市内(青森国際ホテル)で過疎地域自立活性化優良事例発表会を行った後、無料貸切バスで現地視察を行います。

※ 現地視察は、各分科会ごとに約50名様先着順となります。申込書に第3希望までご記入ください。

第1分科会 (五所川原市)

過疎地域自立活性化優良事例発表会

9:30 過疎地域自立活性化優良事例発表会
(総務大臣賞、全国過疎地域自立促進連盟会長賞)

コーディネーター

関司 直也 氏

(法政大学現代福祉学部 教授)

事例発表者

総務大臣賞及び全国過疎地域
自立促進連盟会長賞受賞団体

11:30 現地視察 (希望者のみ)

金木観光物産館マディニー

(昼食：津軽郷土料理)

太宰治記念館「斜陽館」

立佞武多の館

16:30 解 散 (青森駅)



■ 斜陽館



■ 立佞武多

第2分科会 (大鰐町)

過疎地域自立活性化優良事例発表会

9:30 過疎地域自立活性化優良事例発表会
(総務大臣賞、全国過疎地域自立促進連盟会長賞)

コーディネーター

宮口 侗迪 氏

(早稲田大学 名誉教授)

事例発表者

総務大臣賞及び全国過疎地域
自立促進連盟会長賞受賞団体

11:30 現地視察 (希望者のみ)

大鰐温泉もやし生産農家

大鰐町地域交流センター鰐come

(昼食：大鰐温泉もやししゃぶしゃぶ鍋)

旧スパガーデン「湯〜とぴあ」等

大鰐観光りんご園

16:30 解 散 (青森駅)



■ 大鰐温泉もやし



■ 大鰐観光りんご園

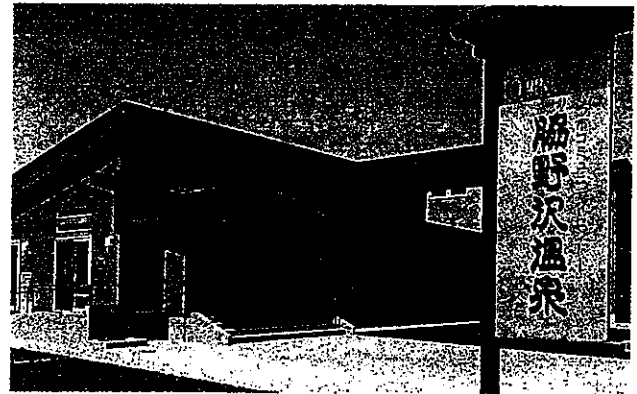
11月1日(金) 分科会・現地視察 (むつ市・七戸町)

※ 第3・第4分科会はJR青森駅周辺から無料貸切バスで分科会会場に移動し、分科会・現地視察を行います。
 なお、分科会(現地取組紹介・意見交換)については、無料貸切バス以外でお越しいただくことも可能です。

第3分科会 (むつ市)

現地取組紹介・意見交換

- 8:00 出 発
- 9:20 むつ湾フェリー乗船(注)(蟹田→脇野沢)
- 10:40 現地取組紹介・意見交換
 - コミュニティセンター脇野沢温泉
 - むつ市脇野沢地域交流センター
 - ・わきのさわ温泉湯好会
- 12:00 現地視察
 - サンマモルワイナリー
 - 北の防人大湊 安渡館
 - (昼食:大湊海自カレー)
 - 下北名産センター
- 17:00 解 散 (青森駅)



■ コミュニティセンター脇野沢温泉

(注) 外ヶ浜町蟹田港からご乗船いただき、航路約1時間でむつ市脇野沢港に到着します。
 (運賃として片道のみお1人様1,600円を事前に請求させていただきます。)
 なお、気象状況等により欠航となった場合は、会場及び行程を一部変更して開催します。



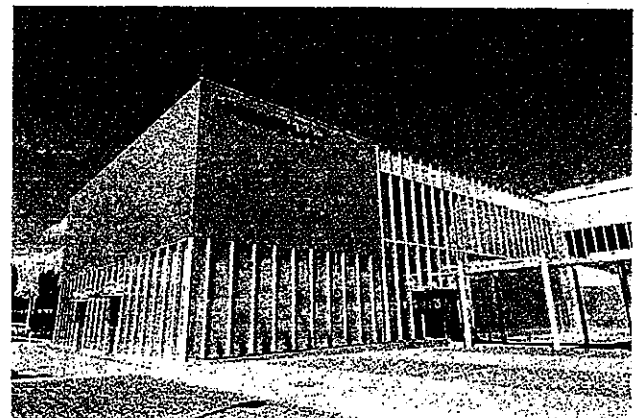
《現地取組紹介を行う施設及び団体について》

- ・コミュニティセンター脇野沢温泉
 - 源泉の枯渇や設備故障等により休業状態が続いていた地域唯一の公衆浴場を平成28年度に地方創生拠点整備交付金を活用し改修。市民協働で地域の元気を創り出す拠点として平成30年4月リニューアルオープン。
- ・わきのさわ温泉湯好会
 - 地域住民自らが活動し住み慣れた地域で暮らさし続けるため、平成29年3月から活動を開始。平成30年4月以降は改修したコミュニティセンター脇野沢温泉を拠点に活動。
 - 現在は、施設的设计段階からワークショップに携わっていた住民たちによって「わきのさわ温泉湯好会」が結成され、集落支援員と協力して、脇野沢を盛り上げる様々な取り組みにチャレンジしています。

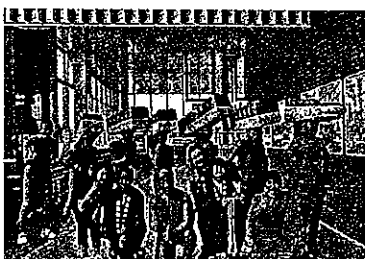
第4分科会 (七戸町)

現地取組紹介・意見交換

- 9:20 出 発
- 10:30 現地取組紹介・意見交換
 - 七戸町観光交流センター
 - ・七戸町かだれ田舎体験協議会
 - ・移住サポーターの会・地域おこし協力隊暮らしコンシェルジュ
- 11:20 現地視察
 - 杉屋敷 奥山
 - (昼食:オリジナル和食)
 - 旧南部縦貫鉄道レールバス
 - ハッピーファーム(旧盛田牧場)
 - 道の駅しちのへ
- 16:00 解 散 (青森駅)



■ 七戸町観光交流センター



《現地取組紹介を行う団体について》

- ・七戸町かだれ田舎体験協議会
 - 「田舎は最高のエンターテイメント!」をキャッチフレーズに、田舎の良さを気軽に楽しめる様々な体験メニューを用意しています。
 - 家族やカップル、また友達同士で里山でのスローライフを堪能できるよう演出します。
- ・移住サポーターの会・地域おこし協力隊暮らしコンシェルジュ
 - 移住者が来やすく、そして住みやすいと思える町にしたいと願う有志と、暮らしコンシェルジュとで各種イベントを行っています。
 - 田舎暮らしに興味のある方には、新鮮な食材、温かい人柄、魅力的な伝統や文化などをご案内します。

ご参加の皆様方の便宜を図るため、名鉄観光サービス株式会社青森支店よりご案内させていただきます。
つきましては、皆様が安心してご参加いただけますように下記をご確認の上、お早めにお申し込み下さい。

参加費用のご案内

- 全体会： 無料
- 交流会： 4,000円
- 分科会： 無料 ※第3分科会（むつ市）に参加される場合、フェリー代 1,600円を請求させていただきます。

交通

「交通・会場のご案内」より、アクセスをご参考ください。

宿泊

宿泊が必要な方は「宿泊のご案内」を参照の上、ご希望宿泊先の施設番号を申込書に記入しお申し込みください。申込は先着順となっております。ご希望のホテルが満室の際は、代案のホテルをご案内させていただきますので、予めご了承下さるようお願い申し上げます。

昼食

現地視察昼食費用(お一人様)

第1分科会 1,100円 第2分科会 1,580円 第3分科会 1,200円 第4分科会 1,200円

※各現地視察先の飲食店で、その土地ならではの食事をご提供します。

お申し込み方法

別紙参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。

郵送の場合は、必ずお手元にコピーを残してください。

参加申込はWebによる受付も可能です。URLかQRコードからお申し込みください。

URL : <http://kaso-symposium2019.info>

申込締切日は、令和元年9月27日（金）です。

お申込み受付後、弊社より受信確認書をFAX・郵送・E-mailにてさせていただきます。

申込締切日以降、宿泊等の調整をさせていただいた後に、申込代表者宛に「予約回答兼請求書」、参加証、チケット類（宿泊券・昼食引換券）、宿泊パンフレットなどを郵送いたしますので、10月9日までに「請求書」に記載の指定口座にご入金をお願いいたします。

（お振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。）



お申し込み後の取消・変更について

交流会の参加費は原則として返却いたしません。宿泊の取消料および変更につきましては、弊社よりご連絡申し上げます。

全体会・交流会
第1・第2分科会
(優良事例発表)
青森市

第1分科会
(現地視察)
五所川原市

第1分科会
(現地視察)

第3分科会

第3分科会
むつ市

全体会
交流会
(第1・第2分科会)

第2分科会
(現地視察)

第2分科会
(現地視察)
大鰐町

第4分科会

第4分科会
七戸町

奥津軽地域の祭り風景
(ねぶたまつり)

全国過疎問題シンポジウム実行委員会事務局

〒030-8570 青森県青森市長島1丁目1番1号 青森県総務部市町村課内 TEL:017-734-9073 FAX:017-734-8009

<http://www.pref.aomori.lg.jp/kensei/shichoson/kasosymposium.html>

ご請求書

2019年10月25日(金)
No. 25-190446

〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラレ1階

株式会社日本旅行TIS富山支店

富山県議会 公明党 様

TEL: 076-433-1184
FAX: 076-433-5200

支店長: 林 良孝
担当者: XXXXXXXXXX

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 75,420円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	税区分	単価	人員・数量	金額
10/31(木)	航空券代金(富山/羽田/青森)	10%	39,280	1	¥39,280
11/01(金)	航空券代金(青森/羽田/富山)	10%	32,880	1	¥32,880
11/01(金)	JR代金(七戸+和田/青森)	10%	3,260	1	¥3,260
合 計					¥75,420
消費税区分 (内訳)	10%対象合計				¥75,420
	8%対象合計				
	(軽減税率8%適用) 8%※対象合計				
	対象外合計				

※お支払いは、2019年10月25日(金)までに、お支払い下さい。

※振込手数料は、お客様負担をお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

振込依頼書

金額	年 月 日
¥75,420	2019年10月25日
振込先	みずほ銀行十五号支店
受取人	株式会社 日本旅行
ご依頼人	25
上記金額正に受け取りました。 年 月 日	
銀行	収入印紙
支店	

振込先	金額
みずほ銀行十五号支店	¥75,420
受取人	現金
株式会社 日本旅行	当店券
〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラレ1階	他店券
TEL (076) 433-1184	振替
ご依頼人	出納印または振替印
(フリカ)	
(おなまえ)	
25	
(おところ) (電話)	

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. 617807 J

RECEIPT

2019年10月28日

ご氏名 富山県議会公明党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金 額 ￥ 75,420-

ただし10/31~11/1 航空券、JR券
現金として(請求行)

- 1. 現 金
- 2. 小 切 手
- 3. 振 込
- 4. クレジット(カード)
- 5. その他()

上記金額正に領収いたしました。



株式会社日本旅行 **TIS** 富山 営業本部
06810 支 店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.



担当者名





11-1

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領 収 証	
No. 0001453	
2019年 11月 1日	
富山県議会 公明党 様	
¥ 710	円 (消費税等10%適用)
但し、バス運賃 として、上記正に領収いたしました。	
ジェイアールバス東北株式会社 登録番号 T9370001008360	
※金額を訂正したもの及び担当者印のないものは無効	
担当	

領 収 証	
No. 0000675	
2019年 10月 31日	
富山県議会 公明党 様	
¥ 710	円 (消費税等10%適用)
但し、バス運賃 として、上記正に領収いたしました。	
ジェイアールバス東北株式会社 登録番号 T9370001008360	
※金額を訂正したもの及び担当者印のないものは無効	
担当	

11-1

〒930-0116
 富山県 富山市追分茶屋 49-3
 富山県議会議員
 吉田 勉 様

発行日：2019年10月11日

請求書

〒030-0802
 青森県青森市本町1丁目2番15号 青森本町第一生命ビル7階
 名鉄観光サービス株式会社 青森支店
 TEL: 017-776-5291
 E-mail: aomori@mwt.co.jp
 受付時間：9：30～17：00
 支店長名：川村 敷
 担当者名：[REDACTED]



全国過疎問題シンポジウム2019 in あおもり

毎度格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。
 下記の通りご請求申し上げます。

ご請求金額 13,200 円

請求番号	171427
申込番号	169

請求明細

内容	単価	数量	金額
参加費-交流会	4,000 円	1	4,000 円
現地視察昼食費-第4分科会【七戸町】	1,200 円	1	1,200 円
宿泊費 10/31 4 ホテルルートイン青森駅前 シングル・朝食付	8,000 円	1	8,000 円
合計			13,200 円
ご入金済額			0 円
ご請求金額			13,200 円

お振り込みは、下記口座へ 2019年10月25日 までお願いいたします。
 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。
 ご送金の際はお手数ですが、右上の申込番号を振込人名の頭に打電お願いいたします。

振込先	みずほ 銀行 第五集中 支店 普通0170991 メイテツカンコウサービス (カ)
-----	---

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

お振込		0042815	01-10-28
			106
001000000003010201000000			
09:10	¥550	¥13,200	
¥0			
手数料のうち振込手数料		¥550	
		000001	
みずほ銀行			
第五集中支店			
普通 0170991			
メイツカンゴウサービス(カ) 様			
169トヤマケンギカイキョウ ヨシタ			
ツトム 様			
電話番号 076-434-3909			

11-1

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北研新聞	3380円
	富山 "	3072円	"
	赤坂	3497円	"
	日本経済新聞	4070円	"
	《合計》	13949円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2019年10月分 領収証 発証No. 00004567-201910-1

吉田 勉 様

品 名	部数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額
¥3,380
(消費税込み)

※お客様の個人情報は、当館窓口において適切に管理し、所定の用途にのみ利用させていただきます。

新聞購読料は口座振替が便利です
クレジットカード決済もできます

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収証

19年10月分

19年10月30日

No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

品 名	部数	金 額
富山新聞※	1	3,072

上記金額正に領収致しました。

8%税率対象合計 3,072

10%税率対象合計 0



富山新聞販売 (株)

富山センター 吳羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

新聞・雑誌名	部数	金額
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497

3,497 円

2019年10月分

上記の金額ただしかにいただきました。
ありがとうございました。

030-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

投者

11-2

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。



領収書

区域015 全戸0000 お問合せNo 13949

お名前 富山県議会公明党 様
県議会

県庁
01年 10月分

銘	柄	部数	金額
1	日本経済新聞	1	4,000
2			
3			
合計			4,000円

◇左記の通り領収しました

令和 領収日 1年10月31日
毎日配達されている新聞購読料は
軽減税率(8%)での税込み価格



読売センター富山中央
(株)太田新聞店
富山市弥生町2-1-2
☎076-433-2315



*裏面もあわせて内容を十分お読みください。

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

インカートリッジ購入

	経費の内容	金額 (円)	備考
上記事業に 要した経費	インカートリッジ	1,474円	キャノン純正インク 2948円 × 1/2
	《合計》	1,474円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

富山県議会様

領収証 (クレジット利用)

2019年11月03日 (日)

¥2,948-

上記正に領収しました (消費税等
 含む) 商品代 (268円を含みます)
 DCM カード 4448-0046 愛知県刈谷市日高町4-101
 TEL 076-434-4000
 明細部の *印は軽減税率(8%)適用商品です。
 保管のお願い 保管頂く場合は、印刷面を内側に折って保管願います

0001-9415-4283

* 領収証明細 *

2019年11月03日(日)17:30 ｼﾞ*0001

116 キヤノン 純正インク 4960999782287 ¥2,948
 合計 ¥2,948
 (内10%消費税 ¥268)
 (内10% (税合計) ¥268)
 お買上点数 1点



シートNo4283

店No00803

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		日本経済新聞	4,000円
	北日本	3,380円	〃
	富山	3,072円	〃
	赤旗	3,497円	〃
	《合計》	13,949円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(必ず正しいように貼付すること。)



領収書

区域015 金戸0000 お問合せNo 13949

お名前 富山県議会公明党 様

県議会
県庁

01年 11月分

	銘 柄	部 数	金 額
1	日本経済新聞	1	4,000
2			
3			
合 計			4,000 円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

毎日配達されている新聞購読料は
軽減税率(8%)での税込み価格



読売センター富山中央
 (株) 太田新聞店
 富山市弥生町2-1-2
 ☎076-433-2315

領収印



領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

2019年11月分 領収証 発証No. 00004567-201911-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額	¥3,380
(消費税込み)	

※お客様の個人情報は、当販売所において適切に管理し、商品の配達・催告、販売所からの各種ご連絡、新聞・雑誌等の配達などに利用させていただきます。

軽減税率対象商品
8%対象

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収証

19年11月分 19年11月10日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞※	1	3,072



上記金額正に領収致しました。
8%税率対象合計 3,072
10%税率対象合計 0

富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588
TEL 076-493-1160
FAX 076-493-1140



※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

各種口座からの引落としや、コンビニ払い、
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

新聞雑誌名 部数 金額
日刊「しんぶん赤旗」 1 3,497

日本共産党発行の しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2019年11月分

上記の金額だけいただきました。
ありがとうございました。

930-0982
富山市荒川2丁目24-12
日本共産党富山県委員会
TEL 076-432-8383

領収日

扱者



12-1

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・ <u>広聴広報費</u> ・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	--

(事業内容)

県政報告 製作費
令和元年度 決算特別委員会

経費の内容	金額 (円)	備 考
県政報告 製作費	200,000円	5000部作成
企画編集料	60,000円	一式
封筒製作費	50,000円	5000部作成
消費税	31,000円	10%
《合 計》	341,000円	

上記事業に要した経費

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. _____

富山県議会 八幡光 様

元年 12月 20日

¥34,000

内 訳

現金 ¥ _____

小切手 ¥ _____

振込 ¥ _____

但し
上記の金額正に領収いたしました

内 訳

税抜金額 _____

消費税額等 (%) _____

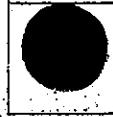
三ノト印刷社

代表 山田 幸三郎

富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)

TEL (0764) 377 5777

係 印



領収書貼付台紙

(必ずこのように貼付すること。)

請求書

No. _____

元年 12 月 19 日

富山県議会 公明党 様

三ノト印刷社
 代表 幸一郎
 〒931-8334 富山県津原崎2丁目1-1
 TEL & FAX (076) 4137-5777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 341,000

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	500部		200000	
2	企画編集料	一式		100000	
3	教育代	500部		50000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				310000	
消費税				31000	
合計				341000	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議会議員 県政報告

◆発行 / 富山県議会公明党 (令和元年 12月)

◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 TEL (076) 444-3373

◆地域の食・文化・人を育む 豊山漁村を守る



◆全国過疎問題シンポジウム2019 in あおもり

日本全体において人口が減少局面にある中、特に過疎地域では人口減少や少子高齢化の進展による地域産業の衰退や生活基盤の弱体化、集落消滅の危機など、さまざまな課題に直面しています。一方で、これらの地域は豊かな自然や農地・森林など有し、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止などを通して、地域内のみならず、都市を含めた人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担っています。このことから、過疎地域のさまざまな取組みについて、更なる議論を深めるとともに、全国の優れた取組みに触れ、参加者相互の交流を図る。

(10/31 全国過疎問題シンポジウム in あおもり七戸十和田駅より)

◆令和元年度決算特別委員会での「吉田つとむ」の総括質疑(11/26)!

問1 「防災・減災、災害に強い県土づくり」について

(1) 自治体や関係機関のタイムラインである防災行動計画の整備とともに、地域防災計画に基づいた防災・減災対策の強化や、住民一人一人の防災行動計画である「マイタイムライン」の普及、ハザードマップの整備・普及などが必要と考えるが、今後どう取り組むのか、問う。

【竹野危機管理監 答弁】

タイムラインについては、例えば水害対応では、国直轄河川流域等の市町村で策定されているほか、県管理河川でも一部市町村で策定されている。引き続き、各市町村での策定を支援するとともに、タイムラインを活かした的確な災害対応を実施いただくよう助言してまいりたい。

また、ハザードマップについては、例えば洪水の場合、県では、その基礎となる想定最大規模降雨の洪水浸水想定区域図を全ての水位周知河川で公表するとともに、市町村が新たなハザードマップを速やかに作成できるよう事前の情報提供等の支援をしており、各市町村で順次公表されている。引き続き、その整備・普及を支援してまいりたい。さらに自らの住む地域の災害リスクを知り、自身や家族のとるべき防災行動をあらかじめ整理したマイタイムライン

の作成は、住民の防災意識を高め、住民による自助を進める観点から非常に有効であると考えている。

先般の台風被害を踏まえ、国では高齢者等への避難の実効性の確保等について議論されると聞いているが、今後、国や他県の取組み事例等も参考に、市町村と連携、協議しながら、その作成や普及に向けて取り組んでまいりたい。

問1 「防災・減災、災害に強い県土づくり」について

(2) 地域防災を支える防火人材の育成・確保や、女性や若者の加入による消防団の充実・強化、地域の防火ロムニエティや地域住民等による自主防火組織の支援を推進することが必要と考えるが、これまでの成果をどう認識し、今後どう取り組むのか、問う。

【竹野危機管理監 答弁】

県では、防災人材の育成については、これまでも防災士養成研修講座や、地域の自主防災組織リーダー研修会、講演会を開催しており、養成を進めてきている。

消防団の充実・強化については、団活動活性化に支援するほか、映画館での団員募集CMの放映、消防団協力事業所の拡大支援など、団員確保に努めてきた。

今年度も、CATVやYouTubeを活用した効果的なPR、学生向けパンフレットの作成等により、さらなる入団促進に努めている。

自主防災組織への支援については、市町村と連携し、防災資機材整備や避難訓練等への支援、自主防災組織の組織化研修会等の実施のほか、今年度新たに、「地区防災計画」を作成した自主防災組織に対する資機材整備や避難訓練等への支援制度を創設し、その支援を強化している。

この結果、防災士数や自主防災組織の組織率は大きく向上し、消防団員数についても全国では減少しているが、本県は維持できており、今後とも、市町村等と連携し、防災人材の育成・確保や、自主防災組織の活動促進、消防団員の確保など、地域防災力の向上に取り組んでまいりたい。

問2 「中小企業の活性化」について

(1) 地域に密着した商工会や金融機関などが産業支援機関と連携し、支援策の周知徹底とともに、中小企業に対する積極的な働きかけや相談に対する親身な対応などに取り組むことが中小企業支援の基本と考えるが、これら関係者と連携し、中小企業の課題や悩み等への対応に今後どう取り組むのか、問う。

【芝田商工労働部長 答弁】

本県企業の太宗を占める中小・小規模企業は、本県経済を支える重要な存在であり、県では中小企業振興基本条例に基づき、商工団体や金融機関と連携しながら、技術の高度化や商品開発、雇用の安定、販路開拓、経営の下支えや基盤強化、円滑な事業承継などに取り組んでいる。

このような中小企業の課題や悩み等に迅速・的確に対応するため、新世紀産業機構に「よろず支援拠点」を設置し、経営上のあらゆる場面で生じる様々な経営課題に関する相談をワンストップで受け付け、専門家の派遣や各種支援制度の紹介、段階に応じたフォローアップなど解決に向けた伴走型の支援を行っている。本年2月には、相談内容の高度化・多様化を受け、法務、税務、IT化が専門の3名のコーディネーターを増員し、体制を強化した。また、SNSの活用やラジオ番組でのPR等による相談窓口の周知や、夜間、土日の相談対応等の利便性向上にも努めている。

また、このよろず支援拠点が中心となって関係機関との連絡会議を定期的で開催している。近年は相談件数が増加し、事案内容も複雑化していることを受け、各機関が一体となって課題を共有することで、それぞれの強みを活かしたきめ細かな相談対応につなげており、出張相談会を共同で開催するなどの取組みも増加し成果をあげている。

今後とも、中小企業に親身に寄り添うことで、様々な経営課題の早期解決につながるよう、関係機関と一体となって支援してまいりたい。

問2 「中小企業の活性化」について

(2) 地域の伝統ある技能を守り、地域の活力を支える中小企業の魅力を発揮し、次世代へ円滑に事業承継ができるよう、事業引継ぎ支援センターなど関係機関と連携し、今後どう取り組むのか、問う。
高齢化による後継者不足が深刻で、黒字経営にもかかわらず倒産・廃業をせざるを得ない中小企業もあると聞く。

【石井知事 答弁】

県が平成29年度に60歳以上の経営者に行ったアンケート調査結果では、約4割の企業で「後継者が決まっていな」と回答するなど、事業承継に対する意識が不足している状況がみられ、対応が遅れがちであり、このままだと、地域経済に深刻な影響を及ぼすことが懸念された。

このため、県では、新世紀産業機構内の事業引継ぎ支援センターの相談員を昨年4月に1名から2名に増員し、体制を強化した。また、昨年6月に経済団体、金融機関、士業団体等73団体で事業承継ネットワークを構築し、事業承継診断や国補助金の活用等の支援を充実させている。

こうしたことにより事業引継ぎ支援センターの相談件数は、平成28年度の27社延べ43件から、30年度130社延べ275件、そして今年度は10月末までに76社延べ209件と大幅に増加しており、成約件数も28年度の1件から、今年度は10月末までに12件と相当増加している。

また、事業承継の機運を高めるため、昨年度のシンポジウムに続き今年度は、より地域に密着した形できめ細かな支援につなげることを目的に「1 dayセミナー」を県内3か所で開催し、専門家の講座や承継の経験者の講演などを通じ、更なる普及啓発を図ったところである。

なお、国の事業承継補助金についても、制度を紹介し活用を呼びかけるなどサポートしたところ、早速申請があり、県内で建設業、製造業、食品製造業など計9件の採択を受けたところである。

今後とも、中小企業者の経営資源等が次世代へ確実に引き継がれるよう、また、事業承継を契機として、経営革新や事業転換を図り、更なる飛躍・発展につながるよう、積極的に取り組んでまいりたい。

問2 「中小企業の活性化」について

(3) 県は、富山県人材活躍推進センターを設置し、ワンストップで人材確保を支援していく体制を整備したか、若者・女性・高齢者など多彩な人材の確保・定着や、高度外国人材・外国人留学生と企業とのマッチング等も含め、中小企業の人手不足の解消に今後どう取り組むのか、問う。

【石井知事 答弁】

県では、人材活躍推進センターを中心に、若者・女性・高齢者など多様な人材の確保・定着に努めている。これまで、若者については、合同企業説明会や移住・転職フェア、県内学生と若手社員との交流や企業訪問バスツアーを実施し、それぞれ相当程度参加いただいているほか、女性については、就活女子応援カフェの開催、新たに設置した「女性就業支援センター」による潜在的な求職者や働きやすい職場の開拓、高齢者については、シニア専門人材バンクによる出張相談会や企業説明会を実施し、マッチングを進めてきたところである。

今後はさらに、若者については、富山大学と連携して保護者を対象とした就職セミナーを開催するなど、県内定着を一層促進するほか、就職氷河期世代の就業状況を調査し、その意欲・能力に応じて活躍できる環境整備を進めることとしている。また、女性若年層の転出超過の状況や、70歳までの就業機会の確保に関する国の動向等を踏まえ、女性・高齢者についても更に重点的に取り組んでまいりたい。

さらに、外国人材については、これまで留学生向け合同企業説明会や、アセアン地域等からの留学生の積極的な受入れなどを行ってきたが、今後、ベトナムのトップクラスの理系大学生とのマッチングや、雇用後の日本語研修の充実など企業における受入態勢の整備を支援し、外国人材の活用・定着をさらに促進することとしている。

今後とも、人材活躍推進センターを核として、中小企業の人手不足の解消に全力で取組んでまいりたい。

問3 糖尿病対策について

(1) 厚労省の「糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き」によれば、国保のレセプトデータを分析すれば健診未受診者の中から治療中断者が抽出でき、受診勧奨できるとのことだが、県内市町村の健診未受診の治療中断者への受診勧奨の取組状況はどうか、問う。

「糖尿病性腎症重症化予防プログラムの改訂、標準に向けた研究班からの10の提言」によれば、透析医療費削減には健診未受診者への介入が必要とのことだが、全国的に取組みが進んでいないと聞く。

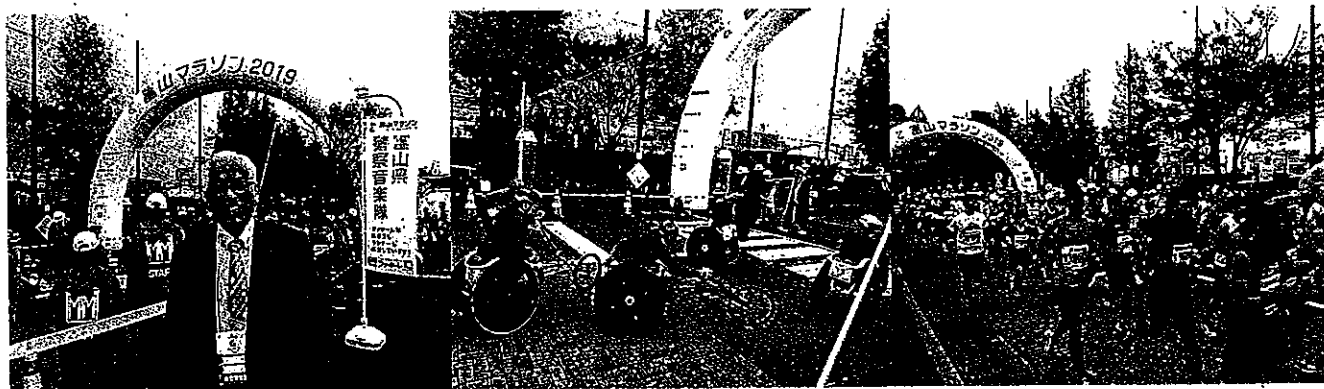
【市村厚生部長 答弁】

糖尿病性腎症の重症化を予防するためには、治療中断者の医療機関への受診勧奨が重要と考えており、県では「糖尿病性腎症重症化予防プログラム」において、受診勧奨者の抽出基準を、特定健診受診結果により糖尿病の受診勧奨基準値を超えた者に加え、過去に糖尿病治療歴があり治療中断している者と定めている。

県内市町村においては、全15市町村において特定健診受診者で基準値を超えた者への受診勧奨が行われており、また12市町村においては、受診勧奨に応じて受診を開始したものの治療を中断している者をレセプト情報から把握し再度受診勧奨を行っている。

委員ご指摘の厚労省の「糖尿病性腎症重症化予防に関する事業実施の手引き」が本年3月に発出され、併せて国保データベースシステムに機能が付加されたことによって、健診未受診者で糖尿病の治療を中断している者をレセプトデータから抽出できるようになったところであり、県内では1市において国保のレセプトデータを活用して健診未受診者で治療中断者を抽出した受診勧奨が行われている。

◆富山マラソン2019



◆「富山マラソン」は平成27年の北陸新幹線の開業を機に、県民総参加によるスポーツ振興や新たな富山の魅力創造、交流人口の拡大を目的として始まりました。5回目の節目を迎えた今年も盛大に開催でき、時折強い雨に見舞われながらも国内外から約1万4千人のランナーが参加されました。「山・海・まち～美しい富山湾を走ろう～」と世界が誇る富山湾、立山連邦の美しく雄大な自然景観、歴史・文化が息づく街並みなどを存分に体感できることが、この大会の大きな魅力となっています。また、約5千人のボランティアが、富山ならではのおもてなしの心で大会を支えるとともに、沿道では県民による温かい声援、とやま名水や富山米新品種「富富富」を使用したシロエビ天むすびなどが皆様を元気づけた。(R1/10/27)

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)



 **公明党**

あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL:076-434-3909 FAX:076-482-2078
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費	委員除積等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-----------------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

※ 国土交通大臣への要望 (12/20(金) 13:40)

場所 → 東京都千代田区霞が関2-1-3 中央合同庁舎3号館

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	25,920円
	(合計)	25,920円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

整理番号		会派・議員名 公明党 吉田 勉
活動名称	要望活動	
目的	国土交通省要望	
日程	令和元年12月20日(金)～令和元年12月20日(金)	
場所	東京都千代田区霞ヶ丘2-1-3 中央合同庁舎3号館	
<small>国名・都市名、施設名、訪問先等</small>		
相手方等	国土交通大臣	
<small>主催者、対応者、参加者、同行者等</small>	衆議院議員 赤羽一嘉	
行程・活動内容	<p>12/20(金) 13:40 国土交通大臣 赤羽一嘉</p> <p>① 出(平・宇奈月)公連携排砂について</p> <p>② 道路整備予算の確保について</p> <p>③ 魚津駅・新魚津駅周辺道路整備事業について</p> <p>④ 経田地区地籍調査事業の推進について</p> <p>①～④と魚津市長(打橋晃)ととりに要望する。</p>	

※白帰りの政務活動を含む。

ご請求書

2019年12月17日(火)

No. 25-190542

〒930-0001

富山市明輪町1番230号

株式会社日本旅行TIS富山支店

TEL: 076-433-1184

FAX: 076-433-5250

支店長: 林良孝

担当者: [Redacted]

富山県議会 公明党 様

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 25,920円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	税区分	単価	人員・数量	金額
12/20(金)	JR代金として(富山⇄東京)	10%	25,920	1	¥25,920
合 計					¥25,920
消費税区分 (内訳)				10%対象合計	¥25,920
				8%対象合計	
				(軽減税率8%適用) 8%※対象合計	
				対象外合計	

※お支払いは、2019年12月17日(火)までに、お支払い下さい。

※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

年 月 日	金額
百 万 千 円	¥25,920
振込先	みずほ銀行十五号支店
受取人	株式会社 日本旅行
ご依頼人	25
上記金額正に受け取りました。 年 月 日	
銀行	収入印紙
支店	

振込依頼書

頼ご日依	年 月 日	電信振	手数料
振込先	みずほ銀行十五号支店	金額	百 万 千 円 ¥25,920
受取人	株式会社 日本旅行	現金	
預金種目	普通預金口座	口座番号	3101833
カブシキカイシャ ニホンリョコウ	株式会社 日本旅行	内訳	
〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階	TEL (076) 433-1184	振替	
ご依頼人	(フリガ) (おなまえ) 25 (おところ) (電話)	出納印または振替印	

領収書貼付台紙

(ならないように貼付すること。)

領 収 証

No. 618069J

RECEIPT

2019年12月17日

ご氏名 富山県議会公明党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金額 ￥ 25,920-

ただし1/20. JR券として
(富山-東京)

- ① 現金
- 2. 小切手
- 3. 振込
- 4. クレジット(カード)
- (※)
- 5. その他()

上記金額正に領収書が提出された。

50,000円以上

取入印紙

株式会社日本旅行 **TIS** 富山 営業本部
06810 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY CO., LTD.

責任者印

扱者名

請求明細書

領収書が必要な方は係員にお申し出ください。



お名前 ヨシタツトム サマ
照会番号=933135123 シュツパツビ 12/20

No=6810 9340 002164
発行日 19-12-06 (013)

J R 券	2 枚	25,920 円
その他券	0 枚	円
変更/取消料		円
ご旅行取扱料		円
その他		円

ご請求額計	25,920 円
ご旅行預り金	円
払い戻し	円 枚

差し引きご請求額 25,920 円

株式会社日本旅行 TISトヤマセンター
(TEL. 076-441-8353)

(記事25)

就任御挨拶

国土交通大臣

衆議院議員

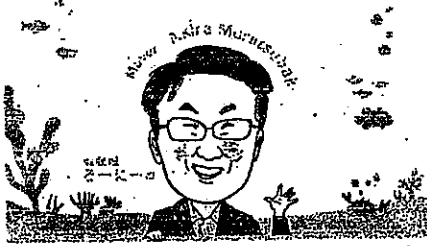
赤羽一嘉

国土交通大臣秘書官

城戸一興

魚津市長

村椿晃



〒937-8555

富山県魚津市親遊堂1丁目10番1号

☎ 0765-23-1016 ☎ 0765-23-1054



魚津市
環境楼見取図

魚津市企画総務部 企画政策課
秘書係係長兼地域総合戦略推進室係長

生和館

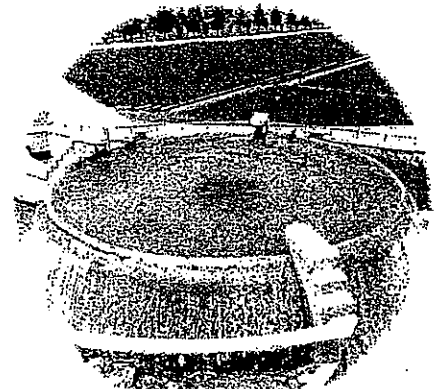
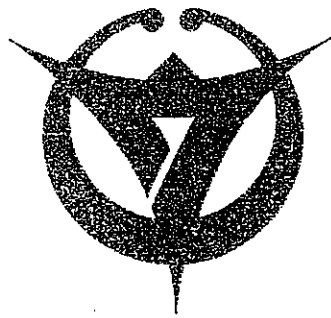
〒937-8555 富山県魚津市親遊堂1-10-1 TEL(0765)23-1016 FAX(0765)23-1054
E-mail: kazuo-iachi@city.uozu.lg.jp (個人 E-mail)

要望書

心躍る
うるおいの舞台 魚津
笑顔で絆つなぐまち



よっしゃ来い!! CHOUROKUまつり



東山円筒分水槽



2016ユネスコ無形文化遺産登録
魚津のタテモン行事・たてもん祭り



第68回全国植樹祭

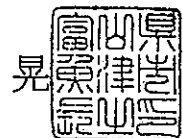
富山県 魚津市

本市の行政諸施策の推進につきましては、日頃格別の御高配を賜り感謝申し上げます。

つきましては、本市の重点要望について、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月

魚津市長 村椿



目 次

本管理・国土保全局

・ 出し平・宇奈月ダム連携排砂について	1
---------------------	---

道路局

・ 道路整備予算の確保について	3
-----------------	---

都市局

・ 急津駅・新魚津駅周辺道路整備事業について	5
------------------------	---

土地・建設産業局

・ 釜田地区地籍調査事業の推進について	7
---------------------	---

要 望 先

(国) 国土交通省 水管理・国土保全局 河川環境課

要望事項	出し平・宇奈月ダム連携排砂について	新規要望
<p>魚津市の水産業は、戦後から昭和40年代にかけてサケ・マスを中心とした北洋漁業が盛んでしたが、近年は、岸近くから急深になっている特異な地形を活かし、富山湾を漁場とした定置漁業、かご漁業が中心となっています。</p> <p>中でも魚津市は、カニかご漁業の発祥地として知られ、ベニズワイガニやバイ貝を中心に漁獲をしています。近年、富山県東部の漁獲量に大幅な減少が生じています。</p> <p>その要因の1つとして、県東部の中心河川である黒部川河口より26キロ上流にある「出し平ダム」と出し平より約7キロ下流にある「宇奈月ダム」の供用開始と共に実施されている連携排砂が考えられます。</p> <p>連携排砂とは、出し平ダムで排砂した土砂が、そのまま宇奈月ダムを通過して下流ないし海に流下することであり、平成13年から行われています。</p> <p>連携排砂後の漁業への影響については、漁業関係者からはバイかご漁、刺し網漁、深海性魚類やホタルイカの漁獲が不安定になってきているとの声も聞いています。</p> <p>このことを受けて、魚津漁業協同組合からは、カニかご漁業者が操業中にかごに付着した大量の泥を撮影した画像を黒部河川事務所と関西電力に提出し、深海における状況を訴え、富山県の協力を得て深海調査を行う運びとなったと伺っております。</p> <p>市といたしましても、「豊穡の海富山湾」「魚津の漁業」を守っていきたいと考えておりますので、格別の御配慮を賜りますようお願い申し上げます。</p> <p>つきましては、次の事項について、各段のご配慮をお願いいたします。</p>		

<要望内容>

【宇奈月ダムでの環境に配慮した排砂方法の構築】

黒部河川事務所が平成13年より行っている連携排砂により、土砂が河川下流まで流れています。宇奈月ダムは、洪水調節機能を有するとともに、河川の河床低下や海岸侵食を考慮して排砂機能を持つダムであると考えています。宇奈月ダムの排砂にあたっては、漁業関係者の声に応じていただくためにも、環境に配慮した新しい排砂スキームを構築するため、できるだけ自然に近い形での排砂方法を検討していただけるよう要望いたします。

【魚津漁業協同組合が希望している深海調査の実施】

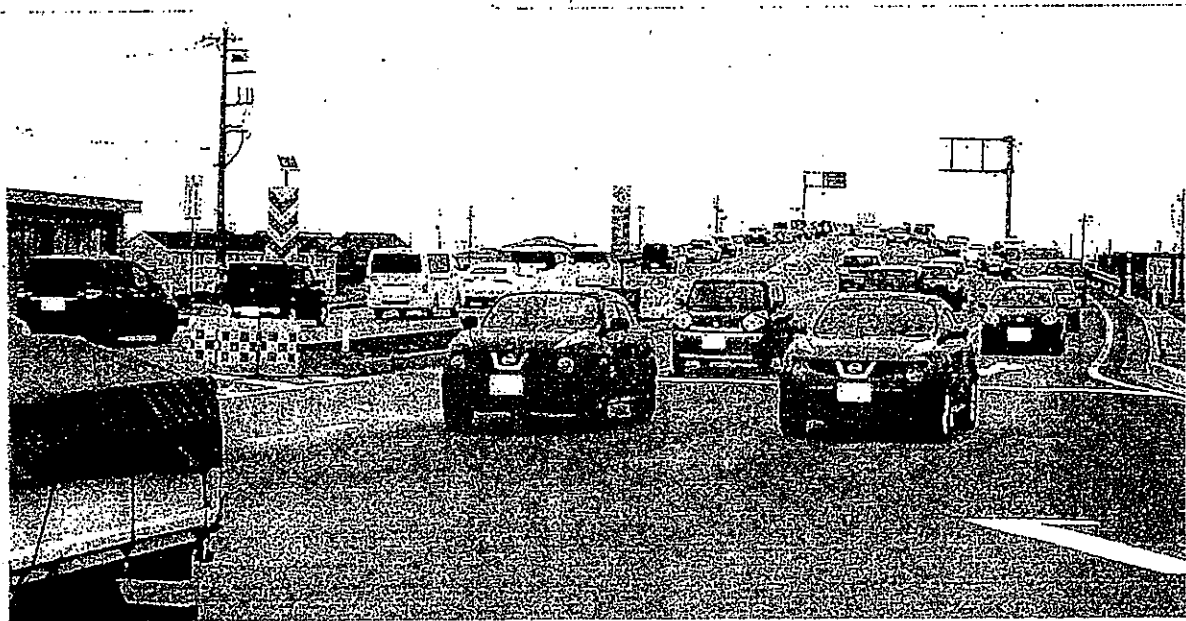
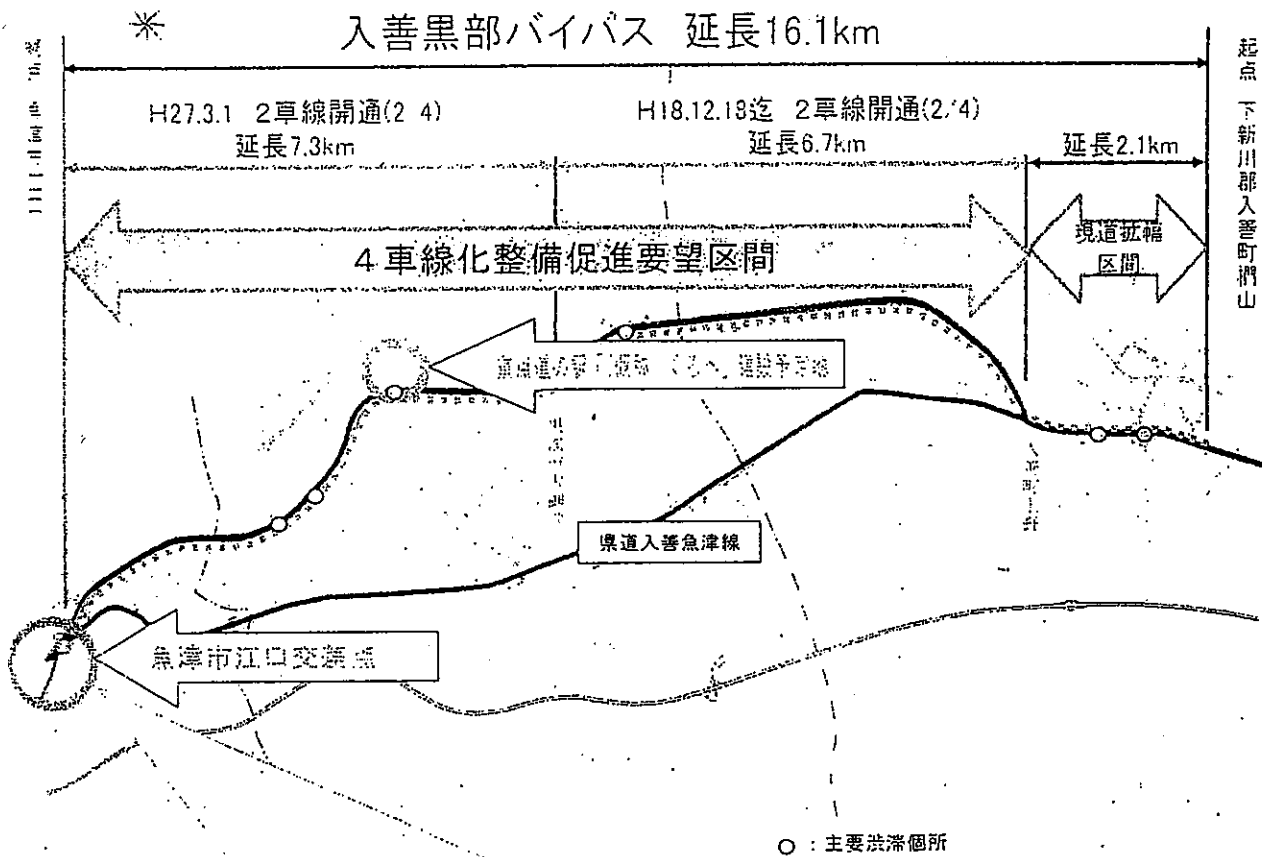
今年の深海調査は、魚津漁業協同組合の要望や、学識者、県水産研究所の意見を踏まえ、魚津漁業協同組合と排砂実施機関（黒部河川事務所・関西電力）との協議で決定した黒部川周辺4地点を対象として調査が実施されていると聞いています。

今後も漁場における環境への影響を詳細に把握するため、魚津漁業協同組合の要望も踏まえ、継続的な調査の実施をお願い申し上げます。

（黒部河川事務所）産業建設部 農林水産課

要望事項	道路整備予算の確保について	継続要望
	<p>◆予算の安定的な確保 道路を含めた社会資本整備は、防災・減災面から必要不可欠であることはもちろん、消費税引き上げ後の景気下振れリスクの防止、デフレからの完全脱却実現のための景気下支えや中長期に渡って景気・経済を成長させるストック効果も発揮されることから、地域が真に必要とする道路整備が強く求められております。</p> <p>国道8号は、地域の経済活動の生命線として、また、地域住民の通学・通勤、買い物などの日常生活に不可欠な幹線道路として、住民生活に大きく貢献しております。</p> <p>つきましては、国道8号の整備促進、特に、交通の集中により渋滞が発生している入善黒部バイパス暫定2車線区間の4車線化整備促進並びに国道8号に接続する幹線道路整備促進等を長期に計画的かつ安定的に進めるため、地方財政状況に十分に配慮した支援をしていただけるよう、道路整備予算の総額の増額確保について、格段のご配慮をお願いします。</p> <p>◆国土強靱化対策を行うための予算の確保 防災・減災・国土強靱化のための3ヶ年緊急対策の着実な実施のための令和2年度予算を確保するとともに、交差点安全対策など3ヶ年緊急対策に含まれない国土強靱化対策を行うため、臨時特別措置の増額及び2020年以降も予算措置を継続するようご配慮をお願いします。</p> <p>◆老朽化対策に係る費用の予算を別枠確保 安全・安心な暮らしを確保するために必要な道路整備が迅速かつ着実に進められるよう十分な予算措置を行い、併せて、構造物の老朽化による通行止等の社会的な影響を回避するとともに、将来の負担を抑える予防保全型の対策に移行するため、早期の対策が必要な道路インフラのメンテナンス予算を別枠で確保し、予算を将来的かつ安定的に確保するための財源を創設するようご配慮をお願いします。</p> <p>◆補正予算の早期編成 災害に強い国土づくりに加え、インフラのメンテナンスや道路ネットワーク整備のため、用途を限定しない補正予算の早期編成について、格段のご配慮をお願いします。</p>	

国道8号入善黒部バイパスの概要



現国道8号や一般県道(旧8号)等との車両流出入により
 渋滞する入善黒部バイパス魚津市江口交差点。
 (魚津側から黒部側に向かって撮影)

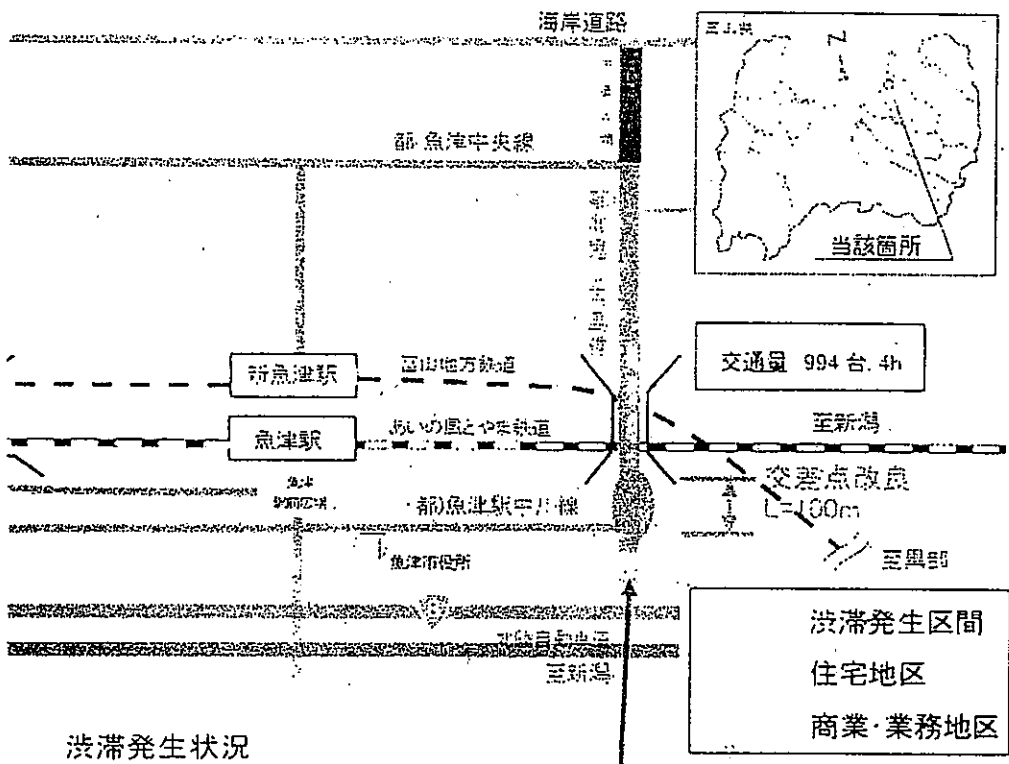
要望先

(国) 国土交通省 都市局 街路交通施設課

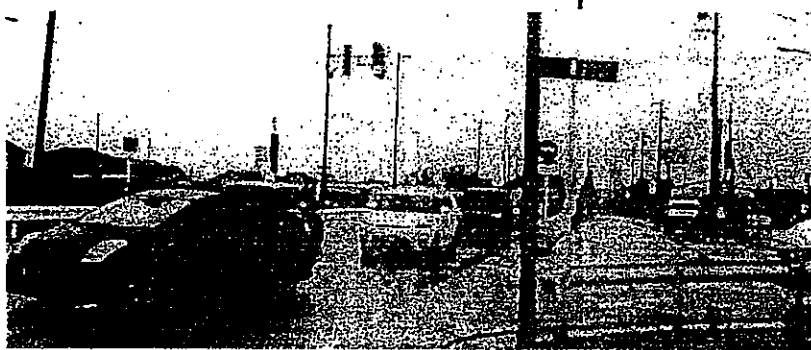
要望事項	魚津駅・新魚津駅周辺道路整備事業について	継続要望
<p>本市では、北陸新幹線開業により生じた交通体系の大きな変化により、市民からは、あいの風富山鉄道魚津駅と富山地方鉄道新魚津駅の両駅における乗換え利便性向上、新魚津駅のバリアフリー化などとともに、駅周辺における賑わい創出に繋がる環境整備や回遊性の向上に繋がる道路環境整備などが求められております。</p> <p>このことから、魚津駅・新魚津駅の利便性向上を図るとともに、駅周辺における安心・安全かつ快適な都市基盤を形成するため、駅を中心としたまちづくりの計画の策定と道路交通環境の整備を進めてまいりたいと考えております。</p> <p>つきましては、次の事項について、各段のご配慮をお願いいたします。</p> <p><要望内容></p> <p>(都)北鬼江吉島線の整備促進</p>		

(魚津市担当課) 産業建設部 都市計画課

魚津駅・新魚津駅周辺道路整備事業位置図



渋滞発生状況



昼 間



夜 間

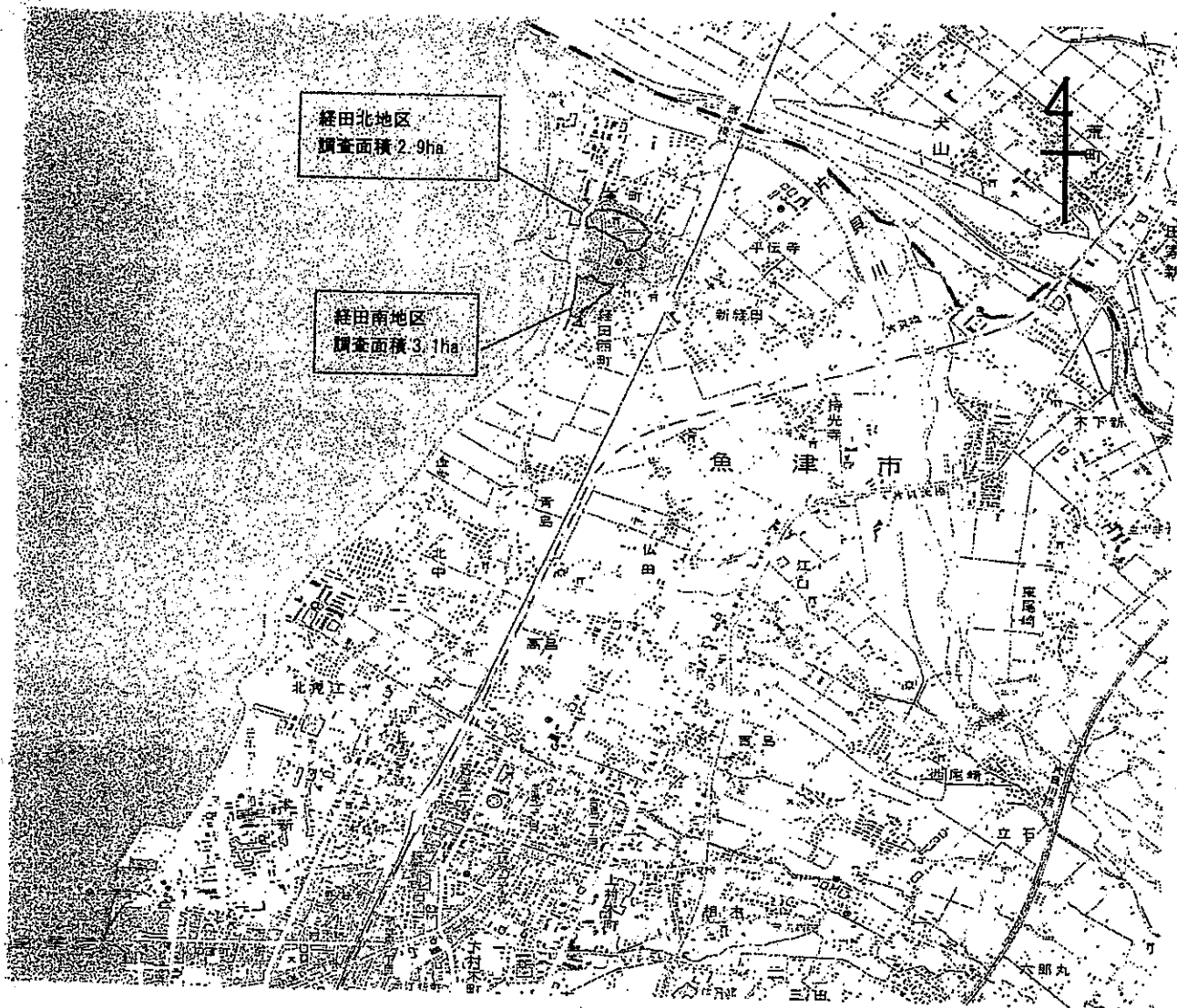
要望先

(国)国土交通省 土地・建設産業局 地籍整備課

要望事項	経田地区地籍調査事業の推進について	継続要望
<p>経田地区の地籍調査事業については、平成28年度より地元説明会を実施することにより、事業への理解が深まり、平成29年3月に地籍調査実施の要望書が経田地区（経田北地区・経田南地区）から提出されたことから、平成29年度3月補正で経田北地区が、平成30年度当初で経田南地区の予算が認められ、地籍調査を事業開始しているところです。</p> <p>また、経田地区では、まちづくりについて地域住民と話し合いを重ねたところ、地籍調査を最初の実施し、境界を明確にした上で、下水道整備と道路の拡幅整備を行っていくことにしております。</p> <p>つきましては、次の事項について、格段のご配慮をお願いします。</p> <p><要望内容></p> <ul style="list-style-type: none">● 地籍調査事業の推進に対する支援 <p>経田地区地籍調査事業（経田北地区・経田南地区）</p>		

(魚津市担当課) 産業建設部 都市計画課

地籍事業位置図



富山県魚津市経田地区



蜃気楼

埋没林

ホタルイカ

魚津の三大奇観

富山湾の神秘

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費	広報広報費	委託関係等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-----------	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

県政報告書(令和元年度決算特別委員会)郵送料

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		郵便運賃料	137632円
	折印のみ料金	70840円	
	《合計》	208472円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

（ならないように貼付すること。）

DE 691206

領 収 証

富山県議会 公明党

様

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

領収金額 **¥137,632**
(うち、消費税額等 **¥12,144**)

但し、12月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。 2020年 1月 7日



扱者印

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

扱者印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。

領 収 証

富山県議会
公明党 様

2020年 1月 7日

★ **¥ 70,840**

但 メール入金代金として
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

富山県射水市小島1214
北山ニ三代

1-1

請求書 2020年 1月 7日 No. _____

富山県議会
公明党 様

富山県射水市小島1214

北山ニ三代

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額				税率 %	消費税額等	
月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)		摘要
1/7	メール封入	2024	0.35	70840		
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
合 計				70840		

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

	経費の内容	金額(円)	備考
上記事業に 要した経費	北日本新聞	3,380円	12月分
	日本経済新聞	4,000円	12月分
	富山新聞	3,072円	12月分
	赤旗	3,497円	12月分
		《合計》	13,949円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

2019年 12月分 領収証 発証No 00004567-201912-1

吉田 勉 様

品 名	部 数	金 額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合 計 金 額
¥3,380
(消費税込み)

※全多額の個人情報は、発行場所において定期的に整理し、所定の期間を過ぎた場合は、廃棄処分をさせていただきます。

軽減税率対象商品
8%対象

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収印

1-2

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収書

区域015 全戸0000 お問合せNo 13949

お名前 富山県議会公明党 様


県議会
県庁

01年 12月分

銘柄	部数	金額
1 日本経済新聞	1	4,000
2		
3		
合計		4,000円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日
本年もご愛顧を賜り誠にありがとうございました。

読売センター富山中央
 (株) 太田新聞店
 富山市弥生町2-1-2
 ☎076-433-2315



領収証

19年 12月分 19年12月3日 No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞※	1	3,072

上記金額正に領収致しました。

8%税率対象合計 3,072

10%税率対象合計 0



富山新聞販売 (株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当



※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

購読料据置き『富山新聞』を、令和2年も
ご愛読いただきますようお願いいたします!

吉田 勉

様

日本共産党発行の **しんぶん赤旗**

領収書

3,497 円

新聞雑誌名 部数 金額
 日刊「しんぶん赤旗」 1 3,497

2019年 12月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

投書



1-2

整理番号	経費の項目	調査研究費 <u>研修費</u> 広報広報費 要請陳情等活動費 会議費 資料作成費 資料購入費 事務所費 事務費 人件費
------	-------	--

(事業内容)

※ 地方議員研究会
人口減少対策セミナー in 東京

※ 2020年1月30日(木)～1月31日(金)

※ TKP東京駅日本橋カナルビルセミナー

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		北陸新幹線	21,800円
	受講料	60,000円	-
	振込手数料	770円	
	宿泊費	14,300円	1/30(木)一泊
	《合計》	96,870円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

会派・議員名 公明党 吉田勉

整理番号	
活動名称	研修費
目的	地方議員研究会 人口減少対策セミナーin東京
日程	令和2年1月30日(木)～令和2年1月31日(金)
場所	TKP東京駅日本橋カシヤビルディング 中央区八重洲1-2-16 TFCビル
相手方等	地方議員研究会
行程・活動内容	<p>行程・活動内容</p> <p>※ 1/30(木) 10:00～16:30 人口減少の現実と課題の共有 人口減少対策・日本の成功例</p> <p>※ 1/31(金) 10:00～16:30 人口減少対策・海外の成功例 人口減少対策の処方箋</p>

※日帰りの政務活動を含む。

人口減少 対策セミナー In東京



人口減少の現実と課題の共有

1/30 木

10:00~12:30

- ・人口減少の何が問題か？
- ・これからの日本とこれからの自治体
- ・総務省「自治体戦略2040構想研究会」の議論から未来を予測
- ・人口減少対策の課題

3/26 木

10:00~12:30

人口減少対策・日本の成功例

1/30 木

14:00~16:30

- ・消滅可能性自治体と地方創生
- ・都市部の成功事例・流山市など
- ・農村部の成功事例・邑南町など
- ・人口減少対策の成功とはなにか

3/26 木

14:00~16:30

人口減少対策・海外の成功例

1/31 金

10:00~12:30

- ・海外に学ぶ人口減少対策
- ・ポータランドの持続可能なまちづくり
- ・SDGsと地方創生・人口減少対策
- ・自治体を地方政府として再認識

3/27 金

10:00~12:30

人口減少対策の処方箋

1/31 金

14:00~16:30

- ・市長経験者が語る人口増加策
- ・私が質問するならこの項目は外せない
- ・人口減少対策の質問の仕方
- ・選ばれる自治体の要件
- ・地方議会から未曾有の課題に取り組もう

3/27 金

14:00~16:30



ひわたし けいすけ
樋渡 啓祐

元佐賀県武雄市長
樋渡社中 Founder & CEO

1969年佐賀県武雄市生まれ。東京大学経済学部卒業後、1993年総務庁(現総務省)に入庁。内閣府沖縄問題担当、内閣中央省庁等改革推進本部事務局、高槻市市長公室長などを経て、2004年総務省大臣官房秘書課課長補佐で退職。2005年当時全国最年少36歳で武雄市長に就任。ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致、市民病院の民間移譲、年間100万人の武雄市図書館の実現を図り、日経BP「日本を立て直す100人」等にも選ばれる。2015年1月佐賀県知事選で敗れ、現在、まちづくりの株式会社である樋渡社中を結成しCEO。

↑ FAX 06-7878-6308 ↑

お申込みは FAX または メール にて

申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。

メール申込み方法

mail@chihogiken.jp

FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで06-7878-6308宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 東京

1月30日 (木曜日)	10:00~12:30 <input checked="" type="checkbox"/> 人口減少の現実と課題の共有	3月26日 (木曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 人口減少の現実と課題の共有
	14:00~16:30 <input checked="" type="checkbox"/> 人口減少対策・日本の成功例		14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 人口減少対策・日本の成功例
1月31日 (金曜日)	10:00~12:30 <input checked="" type="checkbox"/> 人口減少対策・海外の成功例	3月27日 (金曜日)	10:00~12:30 <input type="checkbox"/> 人口減少対策・海外の成功例
	14:00~16:30 <input checked="" type="checkbox"/> 人口減少対策の処方箋		14:00~16:30 <input type="checkbox"/> 人口減少対策の処方箋

お名前	(フリガナ) ヨシダ トモユキ 志田 勉	貴議会名	宮城県議会 (3期目)
電話番号	(076) 434-3909	FAX番号	(076) 482-2078
E-mail	yosidatutomu @ mb. infoweb. NE. jp		
取組名称	ご本人様名・その他(宮城県議会公明党)		
当日不参加の場合はチェックください		<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB音声データ、領収証 郵送希望) 音声データの無断転載等はいししないことと同意して申込みます	

開催場所 TKP東京駅日本橋
カンファレンスセンター
[8講座同場所] 〒103-0028 東京都中央区
八重洲1-2-16 TGビル

受講料 1講座 15,000円(税込)
受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。
※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ・事務局



地方議員研究会

TEL 06-7878-6297
FAX 06-7878-6308
メール mail@chihogiken.jp
〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

東京メトロ東西線 日本橋(東京都) 駅 A1出口より..... 徒歩1分
都営浅草線 日本橋(東京都) 駅 A1出口より..... 徒歩1分
東京メトロ銀座線 日本橋(東京都) 駅 A1出口より..... 徒歩1分
JR京浜東北線 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR京葉線 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR快速エアポート 成田 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分
JR快速アクティフ 東京駅 日本橋口より..... 徒歩4分

当研究会は、各所属企業・団体から案内メールの届くとの相談が寄せられておりますが、当研究会とは全く関係ございません。
アライアンス・アライアンス等も同じ趣意の団体もございませんので、お間違いないようご注意ください。

ご請求書

2020年01月22日(水)
No. 25- 200028

〒930-0001
富山市明輪町1番230号クラルテ1階

株式会社日本旅行TIS富山支店

TEL: 076-433-1184
FAX: 076-433-5250

支店長: 林 良孝 印
担当者: XXXXXXXXXX

富山県議会 公明党 様

このたびは、当社をご利用いただき誠にありがとうございます。
下記の通り、ご請求申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

ご請求金額: 36,100円

ご利用日	ご旅行内訳および種別	税区分	単価	人員・数量	金額
01/30(木)	~1/31(金) JR代金として(富山⇄東京)	10%	23,000	1	¥23,000
01/30(木)	宿泊代金として	10%	13,100	1	¥13,100
合 計					¥36,100
消費税区分 (内訳)	10%対象合計				¥36,100
	8%対象合計				
	(軽減税率8%適用) 8%※対象合計				
	対象外合計				

※お支払いは、2020年01月23日(木)までに、お支払い下さい。
※振込手数料は、お客様負担でお願いいたします。

き り と り せ ん

受取証

金額	年 月 日	百万	千	円
¥36,100				
振込先	みずほ銀行十五号支店			
受取人	預金種目	普通	口座番号	3101833
株式会社 日本旅行				
ご依頼人	25			
上記金額正に受け取りました。 年 月 日				
銀行	収入印紙			
支店				

振込依頼書

振込日	年 月 日	電信送	手数料	
振込先	みずほ銀行十五号支店		金額	百万 千 円
				¥36,100
受取人	預金種目	普通預金口座	口座番号	3101833
	カブシキカイシャ ニホンリョコウ			
	株式会社 日本旅行			
ご依頼人	〒930-0001 富山市明輪町1番230号クラルテ1階 TEL (076) 433-1184			
	(7/材)			
	(おなまえ) 25 (おところ) (電話)			
		現金		
		当店券		
		他店券		
		振替		
		出納印または振替印		

領 収 証

No. 618389J

RECEIPT

2020年 4 月 2 日

ご氏名 富山県議会公明党 様

(ご注意)

本証に、支店名、支店印、責任者印無きもの及び金額欄を訂正したものは無効とします。

金 額 ￥ 36,100-

ただし 1/30-31, JR代金: 宿泊代金 (富山-東京)

- ① 現金
- ② 小切手
- ③ 振込
- ④ クレジット(カード)
- (*)
- ⑤ その他()

上記金額正に領収いたしました。

50,000円以上

収入印紙

株式会社日本旅行

TiS富山 営業本部
0-6810 支店

NIPPON TRAVEL AGENCY

1月23日発行の
領収書が差し支え分、丸印

担当者印

責任者印

領収書貼付台紙

(直ならないように貼付すること。)

領 収 証

富山県議会 公明党 様 2020年1月30日

★ ￥60,000

但 1/30.31 「人口減少対策セミナー」

研修会受講代として

上記正に領収いたしました



一般社団法人地方議員研究会

〒532-0004

大阪市淀川区西宮原2丁目6-16-639

TEL 06 (7878) 6297

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

※ご利用の際は、必ずお取り扱いの注意事項を
ご確認の上、お取り扱いください。

振込先 お振込	0016823	02-01-16
振込先 銀行番号	106	
006000000000010201020000		
13:29	¥770	¥60,000
¥0		
手数料のうち振込手数料		¥770
		000015
楽天銀行 第二営業支店 普通 7520919 シヤ)チホウキインケンキョウカイ 様		
トヤマケンキョウカイ コウメイトウ ヨリダ ツトム 様		
電話番号 076-434-3909		

整理番号	経費の項目	調査研究費	研修費	広報広報費	要請陳情等活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	事務所費	事務費	人件費
------	-------	-------	-----	-------	----------	-----	-------	-------	------	-----	-----

(事業内容)

北日本政経懇話会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		令和2年上期会費	27,000円
	(合計)	27,000円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

請求書

令和2年1月21日

富山県議会
議員 吉田 勉 様

北日本政経懇話会
会長 中田 憲美
〒930-0094
富山市安部町一丁目1番1号
北日本新聞社経営企画室内
TEL 076(445)3528
FAX 076(444)9180

下記のとおり、ご請求申し上げます。よろしくお願い致します。

請求金額 54,000 円

摘要	金額
令和2年上期会費（令和2年1月-6月分） 9,000円×6カ月	54,000円
	合計 54,000円
備考 会費（1カ月9,000円）は6カ月、半期ごとにお支払いを お願いしております。	

※お支払いにつきましては誠に恐れ入りますが、令和2年2月28日（金）までに下記の

北日本政経懇話会口座へお願い致します。

※領収書の発行は省略させていただきますので、予めご了承ください。

※振込手数料は、貴社・団体でご負担願います。

【振込先】北陸銀行本店 普通預金 口座番号0093060「北日本政経懇話会」

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

※ご利用の際は、必ずお振込の金額が
ご利用の明細に反映されていることを確認してください。

お振込 0013347102-01-24

106

004001000000000401040100

時間 09:36 取扱金額 ¥495

おつら ¥0

手数料のうち振込手数料 ¥495
000003

北陸銀行
本店営業部
普通 0093060
キタニホンセイケイコンツカイ 様

トヤマケンキカイギン ヨシタ ヲツ
ム 様
電話番号 076-434-3909

北陸銀行 キャッシュカードサービス
ご利用控

※ご利用の際は、必ずお振込の金額が
ご利用の明細に反映されていることを確認してください。

お振込 0049427102-01-24

106

000001000004000201020100

時間 10:16 取扱金額 ¥9,000

おつら ¥0

手数料のうち振込手数料 ¥275
000006

北陸銀行
本店営業部
普通 0093060
キタニホンセイケイコンツカイ 様

トヤマケンキカイギン ヨシタ ヲツ
ム 様
電話番号 076-434-3909

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費	事務費・人件費
------	-------	---	---------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		インクカートリッジ	5,368円
	《合計》	5,368円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

DCMカーマ

呉羽店 076-434-4000

営業時間: 9:30~19:30
★DCMアプリ会員募集!!
くらしに役立つ動画やWEBチラシなど
お得な情報をお届けします。
アプリストアでDCMヘルプインクスと検索

領収証

2020年02月09日(日)16:47 レシ0093

016 キヤノン 純正インク	
4960999971308	¥3,058
016 キヤノン 純正インク	
4960999918495	¥7,678
合計	¥10,736
(内10%タイヨウ)	¥10,736)
(内10%)	¥976)
(税合計)	¥976)

お預り	¥11,000
お釣り	¥264
お買上点数	2点

*印は軽減税率(8%)適用商品です。



レシートNo1194

店No00803

呉羽店
公明堂

領収証

2020年02月09日(日)

¥10,736-

上記正に領収しました(消費税等 976円を含みます)
但し、商品代(千448-00046愛知県刈谷市日高町4-101
DCMカーマ 呉羽店
TEL 076-434-4000
明細部の印は軽減税率(8%)適用商品です。
保管のお願い 保管する場合は、印刷面を内側に折って保管願います

0093-2871-1194

領収証明細

2020年02月09日(日)16:47 レシ0093

016 キヤノン 純正インク	
4960999971308	¥3,058
016 キヤノン 純正インク	
4960999918495	¥7,678
合計	¥10,736
(内10%タイヨウ)	¥10,736)
(内10%)	¥976)
(税合計)	¥976)
お買上点数	2点



レシートNo1194

店No00803

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・委員陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額 (円)	備考
		日本経済新聞	4,000円
	北日本新聞	2,380円	"
	富山 "	3,072円	"
	赤旗	3,497円	"
	《合計》	13,949円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)



領収書

区域015

全戸0000

お問合せNo 13949

お名前 富山県議会公明党 様

県議会

県庁

02年 1月分

銘柄	部数	金額
1 日本経済新聞	1	4,000
2		
3		
合計		4,000円

◇左記の通り領収しました

領収日 年 月 日

本年も宜しくお願い致します。



読売センター富山中央
 (株) 太田新聞店
 富山市弥生町2-1-2
 ☎076-433-2315



※裏面もあわせて内容を十分お読みください。

2020年 1月分 領収証 発証No. 00004567-202001-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額	¥3,380
(消費税込み)	

※お客さまの個人情報は、当領収証において適宜に消滅し、掲載の取組・名を、領収証からの消滅・取組・消滅に関するご要望に応じて対応させていただきます。

軽減税率対象商品
8%対象

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収証

20年 01月分 20年 1月20日

No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞※	1	3,072

上記金額正に領収致しました。

8%税率対象合計 3,072

10%税率対象合計 0



富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当




※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

購読料据置き『富山新聞』を、令和2年も
ご愛読いただきますようお願いいたします！

2-4

領収書貼付台紙

（重ならないように貼付すること。）

吉田 勉		様		日本共産党発行の		しんぶん赤旗	
				領収書			
新聞・雑誌名	部数	金額		3,497 円			
日刊「しんぶん赤旗」	1	3,497		2020 年 1 月分			
				上記の金額にしかねていただきました。 ありがとうございました。			
				930-0982			
				富山市荒川2丁目24-12			
				日本共産党富山県委員会			
				TEL 076-432-8383			
領収日		/		扱者			

2-4

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

	経費の内容	金額(円)	備考
上記事業に 要した経費	北野新書	3,380円	2月分(2020年)
	高山 "	3,072円	" (")
	赤旗	2,497円	" (")
	富山県市町村新書	6,000円	2019年11月~2020年3月
	日本経済新書	4,000円	2月分(2020年)
	《合計》		19,949円

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

2020年 2月分 領収証 発証No 00004567-202002-1

吉田 勉 様

銘柄	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額	¥3,380
(消費税込み)	

※お客様の個人情報は、当紙発行において適切に管理し、新聞の配達・販売、郵便所からの各種ご連絡、印刷・販売等のご案内などに利用させていただきます。

軽減税率対象商品
8%対象

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

076-436-2618

毎度ご購入有難うございます。

上記金額正に領収致しました。

年 月 日 領収

北日本新聞

領収印

領収証

20年 02月分 20年2月26日 No 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額 3,072

銘柄	部数	金額
富山新聞※	1	3,072

上記金額正に領収致しました。

8%税率対象合計 3,072

10%税率対象合計 0

富山新聞販売(株)

富山センター 吳羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当

※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

新聞・雑誌名 部数 金額
日刊「しんぶん赤旗」 1 3,497

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

3,497 円

2020年 2月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

領収日

扱

3-1

領 収 書

富山県議会議員 吉田 勉 様

¥6,000

期間:2019年10月-2020年3月分 (購読料)

上記の金額を領収致しました

令和 2 年 3 月 5 日

(株)富山県新聞社
代表取締役 廣瀬 慶三
〒930-0094 富山市安住町7番14号
電話076-494-1010番 FAX 076-494-1012番



領収書

区域 015 全戸 0000 お問合せ No 13949

お名前 富山県議会公明党 様

県議会

県庁
2 年 2 月分

銘 柄	部 数	金 額	◇左記の通り領収しました
1 日本経済新聞	1	4,000	
2			
3			
合 計		4,000 円	領収日 年 月 日

毎日配達されている新聞購読料は
軽減税率(8%)での税込み価格

読売センター富山中央
(株)太田新聞店
 富山市弥生町2-1-2
 ☎076-433-2315



※領収書をおかすまで内容が
変更されません

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

お客様コードNo. [REDACTED]

請求書

伝票No. 93

2020年2月26日

富山県新聞社 代表取締役社長 三浦 謙三
 富山市安井町1-1 TEL076(494)1010 FAX076(494)1012
 富山第一銀行富山丸の内支店(当)140540
 <取引銀行> 富山第一銀行諏訪川原支店(当)1009096
 富山第一銀行本店 (普)194888

富山県議会議員会 吉田 勉様

富山信用金庫本店 (普)495903

毎度ありがとうございます。下記の通り御請求申し上げます。

商 品 名	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
新聞代 2019年10月～2020年3月分	6		1,000	6,000 *	
(消費税合計	545)				
合 計				6,000	

摘 要

*は税込金額です。

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費	事務費・人件費
------	-------	---	---------

(事業内容)

備品購入

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		インクカートリッジ	5082円
	《合計》	5082円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)

領収証

富山県議会公明党

様

No. _____

★10,164円

但

2020年 3月 12日 上記正に領収いたしました

内訳

取扱金額

消費税額等(%)

アイタッチ I-Touch
 橋本 樹
 〒939-8782 富山県富山市月岡町4丁目88番地
 TEL076-429-1599 FAX076-429-1367

2020/03/12

請求書

2020年 3月 12日

富山県議会公明党 様

アイタッチ I-Touch
 橋本 樹
 〒939-8782 富山県富山市月岡町4丁目88番地
 TEL(076)429-1599 FAX(076)429-1367

税込合計金額 10,164円

摘要	金額	備考
前月請求残高		
別紙請求内訳書(外税) 1枚	9,240	
消費税(税率10%)	924	
当月請求額	10,164	

上記の通りご請求申し上げます。

振込銀行口座 富山第一銀行 堀支店 243482
 (普通) 北陸銀行 月岡出張所 5013050
 口座名 橋本 樹 (ハシモ ツキ)

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

県政報告 製作費
令和2年 2月定例会

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	県政報告 製作費	20,000円	5000部作成
	企画 編集料	6,000円	一式
	封筒製作費	50,000円	5000部作成
	消費税	3,100円	10%
	《合 計》	24,100円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領 収 証

No. _____

富山県議会公明党 様

令和2年3月17日

¥34,000

内 訳

現金 円

小切手 円

振込 円

但し

上記の金額正に領収いたしました



内 訳

元 金 額

消費税額等 (%)

三ノト印刷社

代表 山田 幸一郎

富山市千原崎2丁目1番1号(北警察署前)

TEL (0764) 37-5777

係 印



請求書

No. _____

令和 2 年 3 月 日

富山県議会 公明党 様

三ノ井印刷社

代表 山田 幸一郎

〒931-8334 富山県 富山市 千原町2丁目1-1

TEL & FAX (076) 4-3-75777

下記の通り御請求申し上げます

合計金額 341,000

月日	品名	数量	単価	金額	摘要
1	県政報告	5,000冊		200,000	
2	企画・編集料			60,000	
3	封筒 表-3ヶ分	5,000枚		50,000	
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
小計				310,000	
消費税				31,000	
合計				341,000	

取引銀行 北陸銀行奥田支店 (普) 0208690

県政報告



◆公明党富山県議会 県政報告 ◆発行 / 富山県議会公明党 (令和2年3月)
◆〒930-8501 富山市新総曲輪 1-7 Tel. (076) 444 - 3373



令和2年度 富山県予算に対する284項目の要望書を石井知事に提出する! (令和元年12月27日)

公明党は昨年4月～6月までの3か月間、全議員が「子育て」「介護」「中小企業」「防災・減災」の4つのテーマに「100万人訪問・調査」運動を実施し、現場のさまざまなニーズや国民・県民の声を直接、耳を傾けてきました。今後さらに子育て支援の充実や社会保障制度の安定、多様化する介護ニーズへの対応、力強い日本経済の再生、防災・減災対策の強化などに全力で取り組んでまいります。

◆令和2年3月5日、富山県議会定例会での「吉田つとむ」の一般質問

問1 「全世代型社会保障」について

(1) 昨年の日本人の国内出生数が初めて90万人を下回り、少子化・人口減少が想定を上回るペースで進んでいる現状をどう認識し、県として少子化対策に今後どう取り組むのか、問う。
国立社会保障・人口問題研究所の推計を上回るペースで少子化・人口減少が進んでおり、結婚・子育てを社会全体・ワンチームで応援するという力強いメッセージを明確に発信する。

【石井知事 答弁】

本県の平成30年の出生数は6,846人で、前年より332人減少し、合計特殊出生率は1.52で、全国値を0.1ポイント上回っているものの、全国同様、少子化・人口減少に歯止めがかかっていない状況である。
これまでも地域における子育て支援、仕事と子育ての両立支援、経済的負担の軽減、子育て応援券の配付・拡充など幅広く施策に取り組んできたが、現状を真摯に受け止め、各種の施策に総合的に取り組んでいく必要があると考えている。
今年度策定する新たな基本計画では、子どもの笑顔があふれる未来を県民皆で創り、次世代につないでいくため、従来からの子育て支援を継続・充実しつつ、新たに働き方改革や男性の家事・育児参画の促進などの視点も盛り込み、

積極的に少子化対策に取り組むこととしている。

具体的には、とやまマリッジサポートセンターの休日のサテライト会場の拡充、婚活セミナーの実施、若手社員の企業間交流の促進による出会いの機会の創出など、結婚を希望する男女の支援を一層強化する。また、産後間もない時期の女性の負担軽減を図るため、家事サポート利用への支援を市町村と連携してモデル的に実施する。加えて、特に中小企業の働き方改革を推進するとともに、男性を含めた家族全員での育児参加を促進するためのシンポジウムの開催や商業施設等へのベビーシート等の設置促進、新川文化ホール敷地での屋内型レクリエーション施設の整備など、子育てに優しく温かい社会づくりを積極的に推進していくこととしている。

このままでは人口が減っていくことになるので、今後とも、市町村や関係団体、企業等と連携して、社会全体で結婚、出産、子育ての願いがかなう環境づくりにしっかりと取り組んでまいりたい。

問1 「全世代型社会保障」について

(2) 昨年10月に幼児教育・保育の無償化が始まり、今後は、保育の質の向上や受け皿整備、また、小学校就学後の児童の預け先確保に力を入れていくべきと考えるか、今後どう取り組むのか、問う。

公明党が昨年未だには実施した全国調査によると、利用者の約9割が無償化制度を評価している。一方で、約5割が「保育の質の向上」に取り組むべきと考えており、また、共働き世帯が増える中、延長保育などの特別保育の充実を図るべき。

【市村厚生部長 答弁】

幼児教育・保育の無償化や女性就業率の高まり等による保育ニーズの増加から、保育の質の向上や受け皿整備は課題であり、保育の実施主体である市町村では、子育て家庭のニーズを把握し、計画的な受け皿整備や特別保育の充実に努めており、県は国とともに施設整備や運営費の支援を行っている。

こうした保育の推進のためには、保育士確保が重要であることから、県では、保育士の処遇改善などに加え、今年度新たに保育士修学資金制度の創設を行ったところであり、さらに新年度予算案には、高校生の保育所体験バスツアーの実施などを盛り込み、保育の担い手確保に総合的に取り組むこととしている。あわせて、保育士の資質や専門性を高める研修の開催や年度途中入所に対応する保育士加配への支援などを行い、保育の質の向上に取り組んでいるところ。

また、小学生を取り巻く環境の変化による子育て家庭のニーズの高まりにより、放課後児童クラブの登録児童数は増加傾向にある。このため、県では、施設整備や運営について、国の基準に基づく助成に加え、県単独で小規模クラブや18時を超えて開所するクラブに対する支援を行っており、実施箇所数も年々増加してきている。今後とも市町村と連携し、保育の充実や放課後の居場所確保など、子育てしやすい環境整備に努めてまいりたい。

問1 「全世代型社会保障」について

(3) 共生社会の実現に向けて、障害者が健常者と同様にスポーツに親しめるよう、県立高校の再編統合による空き体育館の再利用も含め、障害者が安心して練習できる環境を確保すべきと考えるか、今後どう取り組むのか、問う。

県車いすバスケットボールクラブから、練習拠点の体育館が廃館となり練習場所やスポーツ教室の会場が無くなって困っているとの声を聞く。車いすバスケットボールに限らず障害者の練習場所は少ないのが現状であり、使用する道具を収納する施設も必要。

【市村厚生部長 答弁】

障害者スポーツを推進することは、障害者の自立や社会参加の促進につながるるとともに、県民の障害や障害者に対する理解を深め、共生社会の実現に資するものである。このため、県では、これまで、①県障害者スポーツ大会の開催や、②全国大会等に出場する選手の育成・支援、③障害者の方々の練習の場ともなるスポーツ教室の開催など、障害者スポーツの推進に取り組んできたところであり、昨今、ポッチャや車いすバスケットボールの活躍などは、広く県民に知られているところである。

現在、県内の障害者スポーツ団体は、主に県や市町村の体育施設や公園等を練習の場としているが、車いすバスケットボールなど競技によっては練習環境の確保において、①施設のバリアフリー化や、②当該スポーツに対応したハード、ソフトの整備、③他の利用者との利用調整や施設の運営方法等といった課題があると聞いている。

ご提案の県立高校の再編統合による学校施設の活用については、現在、地元の市町等において、その検討が進められていると聞いているが、障害者の練習環境の確保を含め、障害者がスポーツに親しむことができる環境づくりは大切なことなので、まずは、庁内の関係部局と連携のうえ、他県の状況の把握や課題の整理など、必要な調査・研究を行いたいと考えている。

問2 「命を守る防災・減災対策」について

(1) 県内では近年、農業用水路への転落死亡事故のうち、65歳以上の高齢者の事故が8割以上を占めており、高齢者の転落事故防止対策を強化する必要があると考えるが、今後どう取り組むのが、問う。
本格的なかんがい期を迎える中、用水路の水量が増えるなど、水路等付近での危険性が増している。

【石井知事 答弁】

農業用水路への転落事故について、県が今年度行ったアンケートや現地調査によると、①生活に身近な支線・末端水路において、通行者等が移動や作業をする際に、慣れや不注意等によるふらつき、転倒等の人為的ミスにより、事故が発生しているケースが多いこと、②高齢者は若者に比べ、転落後に負傷する割合が高く、死亡率が高くなっていることが、明らかになった。

こうしたことなども踏まえ、県では、先般「農業用水路安全対策ガイドライン」を策定し、①ソフト対策の継続的かつ積極的な推進、②転落リスクなどの優先度に応じたハード・セミハード対策の実施、③行政、関係団体や、自治会・自主防災組織などの地域組織等との連携強化の3つの基本方針のもと、国予算や県単独事業を積極的に活用し、地域の実情に応じた事故防止対策を総合的に進めることにした。

そのため、去る2月10日には、県選出の国会議員（堂故議員、山田俊男議員、宮腰議員）や夏野砺波市長とともに、江藤農林水産大臣にお目にかかり、農業用水路の事故防止のための安全対策に必要な予算の十分な配分を要望してきた。また、その際には、国営農地再編整備事業「水橋地区」の早期事業化に向けた調査の推進を併せてお願いするとともに、県産チューリップ切り花を持参し、PRをさせていただいた。こうしたこともあり、令和元年度の国の補正予算においては、本県に対し、3億円の国予算の配分がなされたところであり、また、令和2年度当初予算においても、所要額の配分がなされるものと期待している。

事故防止対策をより効果的に進めるには、まずは、自己啓発や家庭内での注意喚起が重要であることから、安全意識の向上を図るため、春と秋に転落事故防止強化期間を設け、特に、高齢者については、県・市町村の広報誌を通じた県内約40万9,000世帯への注意喚起のほか、地域の公民館等でのポスター・カレンダーの掲示や、28老人クラブ連合会、609の老人福祉施設へのチラシ・動画の配布を通じた啓発に努めるなど、広報・啓発活動に重点的に取り組むこととしている。今後とも、地域と行政が一体となって実効性のある事故防止対策を展開してまいりたい。

問2 「循環型社会の構築」について

(2) 「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けて、循環型社会づくりを積極的に推進する必要があると考えるが、今後どう取り組むのが、問う。
これまでも本県では、全国初の県単位でのレジ袋無料配布廃止や、全県的な食品ロス削減運動としての商慣習の見直しなど先駆的な取組みをしており、今後も「環境・エネルギー先端県」として積極的に取り組むことが重要と考える。

【石井知事 答弁】

本県が、G7 富山環境大臣会合で採択された「富山物質循環フレームワーク」の実現に向けてこれまで行ってきた、①全国初の県単位でのレジ袋の無料配布廃止、②使用済小型家電リサイクルの実施、③とやまエコ・ストア制度の創設等の3R（スリーアール）に関する取組み、④食品ロス削減のための商慣習の見直しや「3015（さんまるいちご）運動」

など、循環型社会づくりの先駆的な取組みは、昨年の「SDGs（エスディーズ）未来都市」の選定につながったほか、「世界で最も美しい湾クラブ世界総会」でも高く評価いただいた。

新年度、3R（スリーアール）の一層の推進のため、①全国でのレジ袋無料配布廃止開始を記念するイベントの開催、②食品トレイの削減・転換に向けたモデル事業、③プラスチック代替製品の導入への支援などを実施することとしている。

また、食品ロス削減については、①全国に先駆けた、消費者、事業者、行政も参画しての商慣習の見直しを盛り込んだ「富山県食品ロス削減推進計画」の策定、②フードドライブの推進やフードバンク活動の調査・検討、③酒粕をエコフィードとして活用した県産牛のブランド化などにも取り組み、10月に本県で開催される「食品ロス削減全国大会」において、こうした取組みを全国に発信したいと考えている。

今後も、これまで同様、県民、事業者、各種団体等の皆さんと連携を図りながら、これらの施策を展開し、「環境・エネルギー先端県」として頑張っていきたい。

問3 「県内産業等の活性化」について

(1) 国の「就職氷河期世代支援プログラム」や、本年4月から開始される「同一労働同一賃金」を踏まえ、県として、就職氷河期世代への支援や非正規雇用の待遇改善にどう取り組むのか、問う。

全国における就職氷河期世代のフリーター数は10年間で約36万人減少したが、現在もなお、約50万人が不本意に非正規雇用で働いており、約40万人は無業となっている。

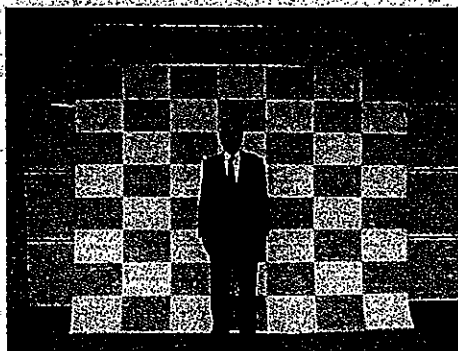
【芝田商工労働部長 答弁】

県では、国の「就職氷河期世代支援プログラム」も踏まえ、県内の支援対象者を把握するため独自に調査を実施したところ、同世代の不本意非正規雇用者の割合は2.99%で、人口に換算すると約4,200人であった。また、非正規雇用者のうち正規雇用での就職・転職を希望する方の割合は37.7%で約11,900人、無業の方では38.1%で約3,700人であった。

これらの方々の就労を支援するため、新年度、県では、①適職診断やインターンシップなどを盛り込んだ研修プログラムのほか、②丁寧なキャリアカウンセリング、③合同企業説明会、④面接・エントリーシート対策セミナーを実施するとともに、⑤人材活躍推進センターの地域若者サポートステーションの機能を活かした伴走支援や、⑥HPによる一元的な支援情報の発信、さらに、⑦新聞広報等による同世代の採用に積極的な企業等のPR等を行うこととしている。

また、非正規雇用の待遇改善に向けて、「同一労働同一賃金」が本年4月から順次適用される。このため、国では①ガイドラインの作成や、②働き方改革推進支援センターにおける電話相談や企業訪問、③キャリアアップ助成金による正規雇用への転換促進に取り組んでいる。県においても、広報誌「労働とやま」による広報や、労働相談ダイヤルを通じ労働者や企業からの様々な相談に応じているところである。今後、国の施策と十分連携し、市町村や企業の協力も得ながら、人材活躍推進センターとともに、就職氷河期世代の活躍や非正規雇用の待遇改善にしっかりと取り組んでまいりたい。

◆北陸3県議会議員研修会の翌日、株式会社ゴールドウイン小矢部工場を視察(令和2年2月7日)



☞「北陸3県議会議員研修会(R2/2/6)において、「2019ラグビーワールドカップ日本代表ジャージ開発について」の演題で株式会社ゴールドウインテクニカルセンターの技術主席「沼田喜四司」氏に説明を受けました。沼田喜四司からは、昨年のラグビーワールドカップのユニフォーム開発に関する、生地開発、型紙設計、縫製技術、デザインなどへの工夫やこだわり、富山県が世界に誇る技術についていろいろご紹介していただきました。

領収書貼付台紙

(重ならないように貼付すること。)



あなたの声を「実現」します

富山県議会議員

吉田つとむ



〒930-0116 富山市追分茶屋49-3
TEL.076-434-3909 FAX.076-482-2078
E-mail:yosidatutomu@mb.infoweb.ne.jp

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

県政報告書(令和2年2月定例会)郵送料

上記事業に要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
		宅配便運賃料	137428円
	折込料	70235円	
	《合計》	208163円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を徴し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

領 収 証

DH295633

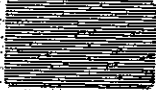
富山県議会 公明党 様

領収金額 **¥137,428**
(うち、消費税額等 **¥12,126**)

印紙税申告納
付につき京橋
税務署承認済

但し、3月度宅急便他運賃料金として
上記の通り領収致しました。

2年 3月 25日



抜者印

本 社 ヤマト運輸株式会社
東京都中央区銀座2丁目6番10

発行事業所 富山主管支店
0766-55-1934

抜者印のないもの及び手書き又は訂正したものは無効です。



富山県議会公明光様

2020年 12 月 25 日

★ 70,705

但 メール封入作業
上記正に領収いたしました

内 訳
税抜金額
消費税額等(%)

富山県射水市小島1214

北山ニ三

請求書 2021年 10月 25日 No. _____

富山県議会公明様

富山県射水市 北山三三代

下記のとおり御請求申し上げます

税込合計金額					税率	消費税額等
					%	
月日	品名	数量	単価	金額(税抜・税込)		摘要
2021	X-1ル封入	2021	25		70705	
	2					
	3					
	4					
	5					
	6					
	7					
	8					
	9					
	10					
	11					
	12					
合計					70705	

整理番号	経費の項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費 <u>資料購入費</u> ・事務所費・事務費・人件費
------	-------	---

(事業内容)

執務参考用図書

上記事業に 要した経費	経費の内容	金額(円)	備考
	北日本新聞	2,380円	3月分
	富山 "	3,072円	"
	産経	3,497円	"
	《合計》	9,949円	

《領収書貼付枠》(原則、領収書を渡し、重ならないように貼付すること。枠内に貼付しきれない場合は、別紙に整理すること。)

領収書貼付台紙

重ならないように貼付すること。

2020年 3月分 領収証 発証No 00004567-202003-1

吉田 勉 様

品名	部数	金額
北日本新聞朝刊	1	3,380

合計金額
¥3,380
(消費税込み)

軽減税率対象商品
8%対象

(有)井上新聞販売店

富山県富山市吉作486-38

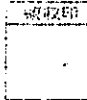
076-436-2618

毎度ご購読有難うございます

上記金額正に領収致しました

年 月 日 領収

北日本新聞



領収証

20 年 03 月分

20年3月5日

No. 580023

お名前 吉田 勉 様

ご住所 追分茶屋 49-3

繰越額

合計金額

3,072

品名	部数	金額
富山新聞※	1	3,072

上記金額正に領収致しました

8%税率対象合計 3,072

10%税率対象合計 0

富山新聞販売(株)

富山センター 呉羽茶屋販売所

富山市黒崎588

TEL 076-493-1160

FAX 076-493-1140

集金担当

※は軽減税率対象品目
金額は税込金額

お支払いは口座振替(翌月2日)が便利です。
クレジットカード決済も承ります。

吉田 勉

様

日本共産党発行の
しんぶん赤旗

領収書

新聞・雑誌名

部数

金額

日刊「しんぶん赤旗」

* 1

3,497

3,497 円

2020 年 3 月分

上記の金額たしかにいただきました。
ありがとうございました。

930-0982

富山市荒川2丁目24-12

日本共産党富山県委員会

TEL 076-432-8383

*印は税率8%

領収日

扱

3-5